

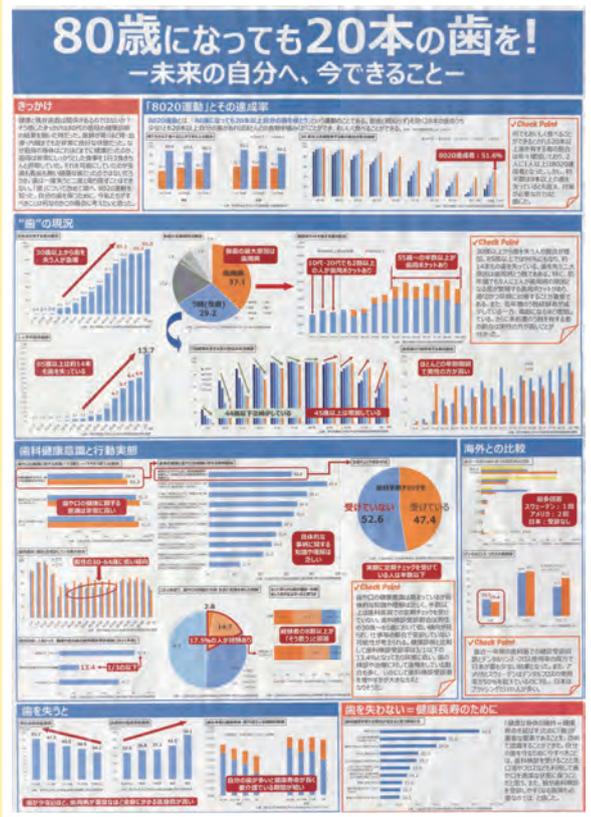
統計 グラフ

全国コンクール

入賞 作品集



文部科学大臣賞
(第3部 特選)



総務大臣賞
(第6部 特選)

統計グラフコンクールに 応募しよう!



総務省政策統括官
(統計制度担当)



は し が き

統計グラフ全国コンクールは、昭和28年に第1回のコンクールが実施されて以来、今回で73回を数えます。

年々、統計グラフへの関心が高まり、また、小学校、中学校及び高等学校の新しい学習指導要領で統計教育の内容の充実が図られたこともあり、表現技術も格段と向上してきており、優れた作品が数多く寄せられています。

この作品集は、特選6点、入選54点、佳作120点、奨励賞3点の合計183点を掲載しています。これらの作品は、いずれも、テーマの選定、表現に創意がこらされ、それぞれ自分で観察した結果や各種の統計資料を整理し、わかりやすいグラフ構成とほどよい配色で、効果的にまとめられています。

統計が私達の生活に深いかかわりを持っていることから、この作品集が、今後、統計の正しい作り方、見方、使い方を知り、統計グラフに興味と親しみをもたれるきっかけになれば幸いです。

令和8年3月

総務省政策統括官（統計制度担当）付
統計企画管理官室

も く じ

はしがき	1
令和7年度の統計グラフ全国コンクールの概要	2
第73回統計グラフ全国コンクール入賞作品一覧	3
第1部（小学1・2年生の作品）特選、入選、佳作、奨励賞	11
第2部（小学3・4年生の作品）特選、入選、佳作、奨励賞	25
第3部（小学5・6年生の作品）特選、入選、佳作、奨励賞	39
第4部（中学生の作品）特選、入選、佳作	53
第5部（小中学生のパソコン統計グラフの作品）特選、入選、佳作	67
第6部（高校生以上の作品（手描き・パソコン利用不問））特選、入選、佳作	81
講評者	95

令和7年度の統計グラフ全国コンクールの概要

第73回統計グラフ全国コンクールは、公益財団法人統計情報研究開発センターが、総務省、文部科学省、全国統計教育研究協議会、日本放送協会、一般社団法人日本統計学会、一般社団法人日本品質管理学会の各団体の後援と、公益財団法人矢野恒太記念会、富士通株式会社の協賛を得て実施しました。

実施に際し、作品の募集、応募作品の第一次審査等で都道府県統計主管課、都道府県統計協会の協力を得ました。

応募実績は、下表のとおり、全国から20,775点の応募があり、都道府県の第一次審査を経て、770点の優秀作品が中央審査に出品されました（中央審査に出品する作品は、部門ごとに応募点数に応じてその点数が決められています。）。

中央審査は、第二次審査（統計グラフとしての正確性、要件の充足状況と全体のまとめ方を重点に審査）と第三次審査（テーマの選択、統計資料の分析・加工、統計グラフの表現技術を重点に審査）の2回行い、特選6点、入選54点、佳作120点、奨励賞3点、合計183点の入賞作品を決定しました。

入賞作品のうち、各部特選については、特別賞（総務大臣賞、文部科学大臣賞、日本統計学会会長賞、日本品質管理学会賞、金丸三郎賞及び石橋信夫賞）が付与されました。

なお、応募に当たって、テーマは自由ですが、第1部及び第2部の作品は、児童が自分で観察または調査した結果をグラフにしたもの、第3部から第6部までの各部は、自分で観察または調査した結果や各種の統計資料を選択してグラフにまとめたもの（第5部のうち小学校1～4年生の作品は、児童が自分で観察または調査した結果をグラフにしたもの）となっています。

第73回統計グラフ全国コンクールの審査結果

部 門	応募点数	中央審査 出展作品	入賞点数				
			特選	入選	佳作	奨励賞	計
第1部 小学1・2年生の作品	1,165	105	1	9	20	1	31
第2部 小学3・4年生の作品	2,506	131	1	9	20	1	31
第3部 小学5・6年生の作品	2,555	130	1	9	20	1	31
第4部 中学生の作品	7,799	165	1	9	20	0	30
第5部 小中学生のパソコン統計グラフの作品	3,219	132	1	9	20	0	30
第6部 高校生以上の作品（手描き・パソコン利用不問）	3,531	107	1	9	20	0	30
計	20,775	770	6	54	120	3	183

第73回統計グラフ全国コンクール入賞作品一覧

1 特別賞

入賞区分	テ - マ	都道府県	学 校 名	学年	制作者氏名
総務大臣賞	80歳になっても20本の歯を！ - 未来の自分へ、今できること -	神奈川県	慶應義塾湘南藤沢中等部・高等部	4	岩 佐 葵
文部科学大臣賞	横断歩道一時停止大調査 ～新潟県と長野県を比べてみよう～	新潟県	上越市立国府小学校	5	金 子 凜 奈
日本統計学会 会長賞	救急車の有料化は必要か	京都府	京都教育大学附属京都小中学校	8	岸 谷 実 玲
日本品質管理 学会賞	子どもパトロールたいになりたい！ ～まつえっこのあんぜんはぼくがま もる～	和歌山県	和歌山市立松江小学校	2	高 井 陽 太
金丸三郎賞	ひなん所でストレスなく眠れる防災 ベッドはどれ？	徳島県	藍住町立藍住北小学校	4	宮 本 真 聡
石橋信夫賞	生成AI使っていますか？ - 日本の若者の利用状況調べ -	千葉県	茂原市立東中学校	3	有 波 大 志

2 一般賞

◆第1部 小学1・2年生の作品◆

入賞区分	テ - マ	都道府県	学 校 名	学年	制作者氏名
特選	子どもパトロールたいになりたい！ ～まつえっこのあんぜんはぼくがまもる～	和歌山県	和歌山市立松江小学校	2	高 井 陽 太
入選一席	とばそう紙ひこうき2 紙のおもさと先おれの長さでとぶきよりが かわる？	富山県	砺波市立砺波東部小学校	2	桑 田 知 寛
入選	なにをだせばかてるの？ ～100人とじゃんけんしたけっか～	岩手県	花巻市立桜台小学校	2	高 橋 成
	おこめを食べた？こむぎを食べた？	福島県	矢吹町立善郷小学校	2	星 まどか
	サイコロねんじるいみってあるのかな	茨城県	取手市立戸頭小学校	2	丸 山 そよ加
	登校時と下校時の天気は大調査	栃木県	作新学院小学部	2	國 吉 桃 美
	広がれスイミング ～調さとアンケートで見えたもの～	東京都	玉川学園小学部	2	赤 岩 俐彩子
	町におちてるゴミは何？	東京都	慶應義塾横浜初等部	2	犬 塚 裕太郎
	ちょっと待っての時間はどれくらい？	愛媛県	今治市立富田小学校	2	井 上 陽 菜
かごしましの小学校の校歌をしらべたよ	鹿児島県	鹿児島大学教育学部附属小学校	1	大 迫 楷	
佳作	ZOOMOで122人にききました みんなのすきなどうぶつなあに？	岩手県	岩手大学教育学部附属小学校	1	松 木 芹 奈
	あったかいね！ことばのちから	茨城県	牛久市立中根小学校	2	生 沢 真 子
	教えて！みんなのきゅう食のこと	茨城県	古河市立古河第三小学校	2	戎 野 真 央
	じつは日本一がたくさん！ いばらきのやさいたべてますか？	茨城県	牛久市立牛久小学校	1	山 田 樹
	どんなお手つだいしている？	茨城県	土浦市立乙戸小学校	2	上 里 季 絹
	ひまわりのタネ、いくつかかな？	群馬県	桐生市立西小学校	1	本 田 恭 子

◆第1部 小学1・2年生の作品◆ つづき

入賞区分	テ - マ	都道府県	学 校 名	学年	制作者氏名
佳作	ぼくのきゅうしょくってちさんちしょうなの？	千葉県	千葉市立美浜打瀬小学校	2	竹 本 壮 悟
	みんな こう通あんぜん気をつけてる！？	千葉県	茂原市立中の島小学校	2	岡 椿
	どこまで育つ？畑のキュウリ	神奈川県	慶應義塾横浜初等部	2	茂 木 愛 奈
	ざぶとんいちまいもってきて！ だれがいちばんおもしろい？	神奈川県	慶應義塾横浜初等部	1	有 田 希 己
	おカイコさん大調査	山梨県	山梨学院小学校	2	高 野 結 羽
	みんなどんなおでん好き？	静岡県	静岡市立西豊田小学校	2	徳 田 紬
	友だち大ちょうさ	愛知県	岡崎市立上地小学校	2	高 辻 彩 葉
	ワクワクドキドキ1ねんせい しょうがっこうの大せんばい 6ねんせいランドセルしらべ	和歌山県	和歌山市立名草小学校	1	嶋 藤 慧
	グラフでしらべる！ わたしがすむとくしまのおこめ	徳島県	鳴門教育大学附属小学校	1	青 木 彩 香
	おやつたんでいがやってきた！！ ～おやつってたべていいもの？わるいもの？～	香川県	香川大学教育学部附属高松小学校	1	松 下 古 都
	あんぜんにのろう じてんしゃ	香川県	香川大学教育学部附属高松小学校	1	宮 川 咲由菜
	ねっ中しょうに ようちゅうい！ このあつさ どうのりこえる？	香川県	土庄町立土庄小学校	2	山 本 朱 莉
	みんなの大すきな なつやさい 生きものとなかよし	香川県 熊本県	土庄町立土庄小学校 山鹿市立菊鹿小学校	2 2	億 兼 多 平 田 望来生 渡 邊 大和 釣 井 孝臥 水 谷 優月
	奨励賞	手 ゆび うで のふしぎ	秋田県	秋田大学教育文化学部附属小学校	2

◆第2部 小学3・4年生の作品◆

入賞区分	テ - マ	都道府県	学 校 名	学年	制作者氏名
特選	ひなん所でストレスなく眠れる防災ベッドはどれ？	徳島県	藍住町立藍住北小学校	4	宮 本 真 聡
入選一席	ことわざって本当にその通り！？ 111人に聞きました！！	埼玉県	学校法人佐藤栄学園さとえ学園小学校	4	八木橋 結 人
入選	知りたいな みんなの自主学习	茨城県	つくば市立学園の森義務教育学校	4	牧 野 心 咲
	ホントに運だけなの？？ ぼくの『ババぬき』必勝法！	茨城県	つくば市立沼崎小学校	3	比 毛 陽 稀
	選挙について聞いてみた ～4年生と6年生どっちがう？～	茨城県	常陸大宮市立村田小学校	4	寺 門 奏 海
	投票率を上げるには？ ～大人達の行動分析～	千葉県	柏市立風早北部小学校	4	高 田 ま り
	知ってほしい！給食エプロンの劣化	岐阜県	高山市立新宮小学校	4	長 瀬 咲 季
	ふるさとのうぜい大調査 ～長泉町のピンチをすくえ！～	静岡県	長泉町立南小学校	4	三 橋 萌 那子

◆第2部 小学3・4年生の作品◆ つづき

入賞区分	テ - マ	都道府県	学 校 名	学年	制作者氏名
入選	みんな食べてる？びちく米 住みよさだけじゃない！！ 下松のみ力を全国へ	広島県	学校法人安田学園安田小学校	4	平野航生
		山口県	下松市立公集小学校	4	藤屋陽向
佳作	AED はどのくらい使われているの？ 食べてくんちえいいわきの給食 家庭のもえるごみしらべ お米が買えない？！ 令和の米そう動 お米なくならないで いばらき県はみ力てきだよ大調さ 10歳の未来宣言 納豆県代表！！ 3・4年生の今どき納豆ライフ 自分で防ごう！自転車事故 給食で1番出る野菜は何だろう？ 夏・みんな大好き♡アイスランキンク ～アイスのひみつをシェアしよう～ すいみんとれていますか？ ヨーヨーの世界大会に行きましたin プラハ お米大調査 習い事ってやる意味あるの？ わが家のせみさんいつ？どこ？何びき？大調査！ みんな教えて！！お米事情 外遊びのピンチ！？ ～みんなのアイデアで未来を考えよう～ 世界からみた日本 大阪・関西万博へん 省エネで地球を救おう！ ぼくの家が大ピンチ！！ お米の消費量はどれくらい？ 3年生ごはんアンケート調査	山形県	山形大学附属小学校	4	和田 紬 希
		福島県	いわき市立平第五小学校	3	川崎 湊太郎
		福島県	矢吹町立矢吹小学校	4	須藤 真 央
		茨城県	土浦市立神立小学校	4	中山 陽 翔
		茨城県	水戸市立笠原小学校	2	中山 裕 翔
		茨城県	水戸市立笠原小学校	3	木村 帝 利
		茨城県	土浦市立真鍋小学校	4	上原 颯 真
		茨城県	つくば市立学園の森義務教育学校	4	中垣 ひなた
		群馬県	桐生市立川内小学校	4	森下 結 也
		埼玉県	三郷市立幸房小学校	4	狩野 華
		埼玉県	桶川市立朝日小学校	3	齋藤 優 桜
		千葉県	茂原市立本納小学校	3	中田 陽 大
		東京都	府中市立府中第五小学校	4	坂口 遼
		長野県	諏訪市立上諏訪小学校	3	小池 進 弥
		静岡県	富士市立吉原小学校	4	佐々木 隆太郎
		静岡県	富士市立田子浦小学校	3	鈴木 權
		愛知県	岡崎市立上地小学校	4	川澄 梓
		愛知県	岡崎市立井田小学校	4	成瀬 絢 音
		大阪府	熊取町立西小学校	4	吉川 楓 馬
		兵庫県	小野市立大部小学校	4	岡田 治 樹
和歌山県	和歌山市立名草小学校	3	嶋 康 勝		
奨励賞	害虫Gをやっつけろ！！	高知県	学校法人高知学園高知小学校	4	福間 星之介

◆第3部 小学5・6年生の作品◆

入賞区分	テ - マ	都道府県	学 校 名	学年	制作者氏名
特選	横断歩道一時停止大調査 ～新潟県と長野県を比べてみよう～	新潟県	上越市立国府小学校	5	金子 凜 奈
入選一席	怪しいリンクをクリックする？ 小・中学生が見た！「ネットの危険ゾーン」	香川県	香川大学教育学部附属高松小学校	6	西尾 凜 子
入選	Welcome to Iwate！ 心にやどそう 日本の伝統文化	岩手県	花巻市立若葉小学校	5	安部 哲 司
		茨城県	桜川市立羽黒小学校	5	兒玉 咲 帆

◆第3部 小学5・6年生の作品◆ つづき

入賞区分	テ ー マ	都道府県	学 校 名	学年	制作者氏名
入選	気候変動に具体的な対策を 日本の猛暑と友好的な関係を	埼玉県	新座市立栗原小学校	6	塩 川 七 緒
	御渡りと温暖化と地元住民の思い	長野県	諏訪市立上諏訪小学校	5	大 場 翔 太
	熱中症をのりきろう！	静岡県	加藤学園暁秀初等学校	5	利 根 漣
	親子3世代真夏の暑さはどう変わった？	京都府	舞鶴市立中筋小学校	5	濱 上 芽 依
	今治の地産地消を大調査 ～ぼくたちの食と地元のつながり～	愛媛県	今治市立乃万小学校	6	小 澤 航 也
	ばあばや多くの人を熱中症から救うには	鹿児島県	鹿児島大学教育学部附属小学校	5	竹 下 凜
佳作	無電柱化調査消えた電柱のなぜ？	群馬県	桐生市立南小学校	5	宮 崎 亮
	未来へつなぐ1票を	埼玉県	新座市立栗原小学校	6	内 藤 環
	どうなる？ぼくたちの部活動 先生たちは忙しすぎる！？	千葉県	茂原市立萩原小学校	6	原 直 希
	千葉の貴重な資源大発掘 陸海空で見つけてみよう！	千葉県	茂原市立五郷小学校	6	風 戸 杏 璃
	自転車の走り方大調査！	千葉県	松戸市立相模台小学校	5	鈴 木 ちとせ
	都道府県別幸福度ランキング No. 1 福井県に暮らす子どもたちの姿	神奈川県	横須賀市立逸見小学校	5	乾 有 希
	甲府の街中 落書き事情	山梨県	山梨学院小学校	6	雨 宮 楽
	みんなの防災調査	岐阜県	大垣市立宇留生小学校	5	本 間 啓 葉
	少子化？地域移行？選べる時代の部活動	静岡県	富士市立吉原小学校	5	村 上 董 怜
	守ろう！自分の命 ～水泳授業の大切さ～	静岡県	御殿場市立原里小学校	5	福 井 永 愛
	お米の大切さ ～未来へつなげ～	愛知県	岡崎市立三島小学校	6	江 間 桜 子
	つながる家族 おじいちゃんおばあちゃんのこと知っていますか？	大阪府	河内長野市立長野小学校	5	杉 原 あおい
	めざせ奈良県健康寿命日本一	奈良県	葛城市立當麻小学校	6	山 本 康太郎
	自分のこと好きですか？ ～いじめゼロへの第一歩～	香川県	丸亀市立飯山北小学校	6	松 本 紗 良
	愛媛県交通事故発生状況調査	愛媛県	松山市立伊台小学校	6	丸 山 乃 愛
	音楽っていいね 子どもも大人もみんな大好き！	愛媛県	新居浜市立神郷小学校	6	森 本 正 虎
	あなたのすぐそばに！危険な蟲	佐賀県	小城市立牛津小学校	6	西 口 ちはや
	平和の色ってどんな色？ 長崎から未来へつなぐ	長崎県	長崎大学教育学部附属小学校	5	前 山 花
	学校にエアコンがなかったの？ ～昔と比べた鹿児島市の気温の差～	鹿児島県	鹿児島大学教育学部附属小学校	5	塩 満 美 日
	歴史が動いた！鹿児島のお茶が日本一！！	鹿児島県	鹿児島大学教育学部附属小学校	5 2	川 池 結 月 川 池 悠 仁
奨励賞	命を守る！自転車交通ルールとヘルメット	福岡県	福岡市立愛宕小学校	6	江 見 百 加

◆第4部 中学生の作品◆

入賞区分	テ - マ	都道府県	学 校 名	学年	制作者氏名
特選	救急車の有料化は必要か	京都府	京都教育大学附属京都小中学校	8	岸 谷 実 玲
入選一席	0.01秒の壁に挑む ～桐生祥秀選手から見る100m 走の速さの 秘訣～	埼玉県	佐藤栄学園栄東中学校	3	石 井 友和子
入選	日本の犯罪 ～その背景にあるのは～	北海道	北海道教育大学附属札幌中学校	2	山 口 梨依菜
	2026年度からの青切符 自転車レーンの必要性	埼玉県	さいたま市立大宮国際中等教育学校	3	有 隅 梨 紗
	「我が家の味」はもう古い？ 令和の食卓は「多様」を召し上がれ	富山県	射水市立小杉南中学校	1	長谷川 駿
	戦後80年 この世に平和を築けないのは 紙はある？いらぬ？	岐阜県	大垣市立赤坂中学校	2	水 野 由 弥
	ジェンダー・ギャップ指数 ～日本はなぜ118位なのか～	京都府	京都教育大学附属京都小中学校	7	岡 田 芽以加
	令和の米騒動 ～今後の日本米をどう考える～	徳島県	鳴門教育大学附属中学校	1	蔭 山 二 瑚
	臓器移植を“見える化”する ～A Gift of Life～	愛媛県	新居浜市立角野中学校	2	渡 邊 咲 来
		佐賀県	佐賀大学教育学部附属中学校	2	長 田 明香里
佳作	日本の稲作が大ピンチ！？ ～今私たち・社会にできること～	青森県	弘前大学教育学部附属中学校	3	竹 内 翠 依 日ヶ久保 乃愛
	私もトーストに！？ 対策しないと焦げちゃうよ！！	岩手県	岩手大学教育学部附属中学校	3	大 橋 明 依
	熱中症から命を守れ！	山形県	米沢市立第四中学校	1	房 間 円 花
	そうだったのか！眼精疲労の原因は斜位！？	山形県	山形県立東桜学館中学校	3	松 田 蓮 音
	読書離れの真相とは！？ 読者の行動と意識から読み解く本屋の実態	群馬県	群馬県立中央中等教育学校	2	小 山 七 海
	海はゴミ箱じゃない。魚たちのすみかだ！	東京都	府中市立浅間中学校	2	本 田 凜 十
	あなたは助かりますか？ ～やってよかった！防災対策～	神奈川県	横須賀市立大津中学校	3	本 名 琳
	保護犬と高齢者の共生 ～犬の殺処分の根絶を目指して～	神奈川県	慶應義塾湘南藤沢中等部	2	平 松 紗 羽
	能登の自家製野菜調査	石川県	珠洲市立三崎中学校	2	河 原 愛 瑠 権 元 紗唯妃 谷 内 尊
	読書離れは子どもだけなのか？	山梨県	駿台甲府中学校	1	小 野 茉里奈
	お金についてじっくり考えよう	岐阜県	大垣市立西部中学校	1	傍 島 舞 香
	みんなはどうする？ HPV ワクチン接種状況大調査	静岡県	富士市立富士南中学校	3	鈴 木 七 海 前 島 実莉子
	令和の米騒動から考える 食料自給率の未来	静岡県	御殿場市立南中学校	3	谷 口 瑞 季
	米価高騰ですが…保っていききたい私たちの食 生活	愛知県	岡崎市立竜海中学校	1	判 治 里 紗
特殊詐欺を防ぎ隊	広島県	広島大学附属東雲中学校	2	西 本 充 希	

◆第4部 中学生の作品◆ つづき

入賞区分	テ - マ	都道府県	学 校 名	学年	制作者氏名
佳作	いつの世も恋の話はみんな好き ～百人一首歌人たちの恋模様～	山口県	山口市立鴻南中学校	3	原 川 灯 里
	佐賀の古墳調査隊出動！	佐賀県	佐賀県立武雄青陵中学校	1	鷹 巢 重
	かわいいだけじゃダメですよ！？	長崎県	長崎大学教育学部附属中学校	1	木 下 聖 渚
	あなたは地図が読めますか？	大分県	別府市立別府西中学校	3	衛 藤 真 央
				3	大 野 琳 加
				2	杉 山 希 菜
	沖縄の台風接近 typhoon (テーパー) について	沖縄県	浦添市立浦添中学校	1	前 田 湮 玖

◆第5部 小中学生のパソコン統計グラフの作品◆

入賞区分	テ - マ	都道府県	学 校 名	学年	制作者氏名
特選	生成AI使っていますか？ ～日本の若者の利用状況調べ～	千葉県	茂原市立東中学校	3	有 波 大 志
入選一席	スマホと私達、その便利の代償は？	青森県	八戸市立東中学校	3	戸 崎 滋 央 里
入選	群馬県の魅力度UP！ ～群馬の魅力再発見プロジェクト～	群馬県	群馬大学共同教育学部附属中学校	3	清 水 丈 瑠
	自助と共助で身を守る 令和のご近所付き合い事情	埼玉県	さいたま市立大宮国際中等教育学校	3	柴 田 奈 緒
	若者の海外離れは本当か！？	東京都	大妻中野中学校	3	石 渡 結 衣
	選挙と非投票率 ～ムダになる税金～	神奈川県	慶應義塾湘南藤沢中等部	2	渡 辺 吏 翔
	PK 戦は運なのか？データから検証する	愛知県	愛知県立刈谷高等学校附属中学校	1	内 田 敦 也
	あなたは気づいていますか？ インターネットの情報の危険性	三重県	津市立久居東中学校	3	林 心 陽
					塚 本 晶 大
					松 田 蓮 斗
	クマ出没注意！ 水難事故ゼロを目指して ～尊い命を守るために私たちができること～	京都府	京都教育大学附属京都小中学校	7	森 田 彩 月
		佐賀県	佐賀大学教育学部附属中学校	3	陣 内 心 有
佳作	今の私達、スマホに影響されてる？	北海道	北海道教育大学附属札幌中学校	2	高 橋 袖 帆
	中学生における現実と空想のイメージ時間	山形県	山形県立致道館中学校	2	伊 藤 息
	心の壁の向こう側	福島県	福島市立岳陽中学校	3	成 瀬 海 咲
					菅 野 紗 楽
					末 永 千 紘
					高 田 莉 緒
	メディア機器の使い方はどう変化した？ ～2年前と比べてみたら～	茨城県	鹿嶋市立三笠小学校	6	島 本 大 輝
	ラジオ、聴いてる？ ～放送開始100年の現状～	栃木県	小山市立小山第三中学校	3	台 坂 駿
メディアの使用時間の変化	栃木県	小山市立間々田中学校	2	白 水 雅 隼	
衣類の大量廃棄、大量消費、大量生産の原因を探る！！	神奈川県	慶應義塾湘南藤沢中等部	1	梶 見 彩 花	

◆第5部 小中学生のパソコン統計グラフの作品◆ つづき

入賞区分	テ ー マ	都道府県	学 校 名	学年	制作者氏名
佳作	塩分摂取量を減らそう 日本人は塩分を取り過ぎている	山梨県	駿台甲府中学校	1	渥 美 あ い
	諏訪の医療と介護の現状	長野県	長野県諏訪清陵高等学校附属中学校	1	宮 坂 聡 一
	知ってますか？自転車の赤切符・青切符	静岡県	長泉町立長泉中学校	3	渡 邊 佑 基
	ヒヤリ発見！ぼくらの自転車大調査	愛知県	長久手市立西小学校	4	田 中 遥 馬
				2	田 中 翔 馬
	長生きで若い！？滋賀県民のヒミツを探る！	滋賀県	滋賀大学教育学部附属中学校	2	中 川 真 輝
	琵琶湖の水は安全か！？ ～ごみとマイクロプラスチックの調査からの考察～	滋賀県	立命館中学校	3	鹿 谷 俊 介
	外国人から見た日本ってどんな国？	大阪府	熊取町立南小学校	6	井 黒 想 来
	身の回りに潜む危険	和歌山県	和歌山県立向陽中学校	3	林 尚 親
	もっと知ろう臓器移植	岡山県	岡山県立岡山大安寺中等教育学校	2	黒 崎 志 帆
	食品パッケージのオノマトペ	岡山県	岡山県立岡山大安寺中等教育学校	2	吉 岡 怜 美
	結局、コロナで運動能力は下がったの？	岡山県	岡山県立岡山操山中学校	2	水ノ上 理 子
	鉄分あなたはたりてますか？	長崎県	長崎大学教育学部附属中学校	1	小 嶺 彩
	野菜の価格変動から見直す私たちの食卓 ～野菜の価格高騰に立ち向かう中学生の逆襲！！	宮崎県	宮崎日本大学中学校	2	今 田 晴 千

◆第6部 高校生以上の作品（手描き・パソコン利用不問）◆

入賞区分	テ ー マ	都道府県	学 校 名	学年	制作者氏名
特選	80歳になっても20本の歯を！ ～未来の自分へ、今できること～	神奈川県	慶應義塾湘南藤沢中等部・高等部	4	岩 佐 葵
入選一席	鉄道廃止、その「前」と「後」 ～数字が語る地方のいま～	愛知県	名古屋大学教育学部附属高等学校	1	山 川 岳 大
入選	選択できる社会へ ～ピルをめぐる日本のリアル～	栃木県	小山工業高等専門学校	3	佐 藤 愛 子
	絶滅危惧種『タガメ』を増やそう ～4年目の研究～	埼玉県	一般 さいたま市立南浦和小学校	6	高 橋 良 和
				4	高 橋 岳 歩
	雨水の性質・成分 場所によって変わる？！	長野県	長野県屋代高等学校	1	児 玉 悠 真
	選べる姓がつくる未来 ～選択的夫婦別姓について考える～	島根県	島根県立松江北高等学校	1	影 山 亜 胡
	佐賀市における空家の現状とこれからの活用	佐賀県	学校法人佐賀龍谷学園龍谷高等学校	2	豊 増 恒 生
	世界を繋いだ最初の約束	佐賀県	佐賀県立佐賀西高等学校	2	田 口 夢 彩
	とびたて！日本の学生たち 海外留学に関する最近のデータ	佐賀県	一般	－	中 村 純 一
佳作	「動物にも爪はあるの？」にどう答える？ ～肯定的な声かけが親の育児満足度を向上させる～	熊本県	一般	－	米 原 秀 一
				－	米 原 有 紗
佳作	光が消える、その前に	埼玉県	さいたま市立大宮国際中等教育学校	4	井 上 結 月 清 水 結 衣

◆第6部 高校生以上の作品（手描き・パソコン利用不問）◆ つづき

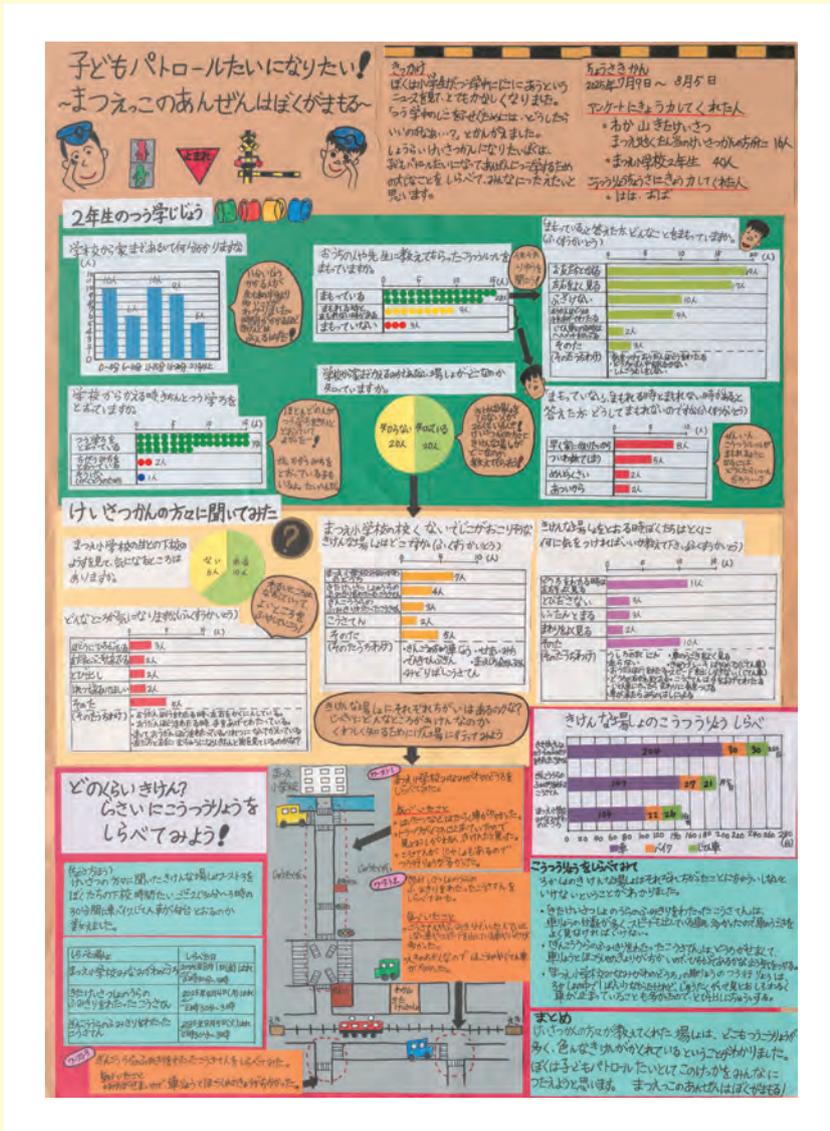
入賞区分	テ ー マ	都道府県	学 校 名	学年	制作者氏名
佳作	人生100年時代 シニアに学ぶ ミドルの生き方	埼玉県	一般	-	土 井 久美子
	そのバイト、ホントに安全？	東京都	実践女子大学	3	有 馬 詩 織 岩 坂 果 純 大 関 実佐季
	日本の選挙事情 投票率が低い??	東京都	吉祥女子高等学校	1	堀 籠 環
	あなたは災害に備えていますか？ ～神奈川×全国の防災意識比較～	神奈川県	慶應義塾湘南藤沢中等部・高等部	4	岩 佐 葵
	今、福井県がおもしろえざあ～ 敦賀をみれば日本が分かる	福井県	一般	-	杉 原 美智久
	日本の音楽市場はなぜ伸び悩むのか？	愛知県	名古屋大学教育学部附属高等学校	1	加 藤 結
	冷凍食品は GREAT！	愛知県	金城学院高等学校	2	杉 浦 潤 香
	ドラマと主題歌の関係とは!?	大阪府	大阪教育大学附属高等学校池田校舎	2	地頭所 暖 香 坂 井 ほのか 西 尾 優 希 辻 田 茉 優 辻 田 真 央
	熱中症はどんな天気の日が多いの？	兵庫県	雲雀丘学園高等学校	2	村 上 遼
	電気代を安くすることはできるのか	島根県	島根県立松江南高等学校	1	原 壮 良
	夏はどのくらい暑くなった？	岡山県	一般	-	惣 中 彩
	階段の踊り場での衝突を未然に防ぐ	岡山県	岡山県立倉敷天城高等学校	2	金 子 大 雅 由 利 悠 樹 土 肥 夏 子
	広島県最強地域決定戦	広島県	学校法人鶴学園広島工業大学高等学校	2	井 口 新 太 木 原 颯 大 本 間 優 一 美 戸 瑛 太
	耕地利用率37年連続1位の佐賀県が園芸農業 888億円を達成するには？	佐賀県	早稲田佐賀高等学校	1	岩 永 一 香
	STOP！保育士不足 ～働きやすい未来の保育現場へ～	長崎県	NHK 学園高等学校	3	田 中 蓮 望
	栄養バランスを見直そう！健康を守る食生活	大分県	大分県立鶴崎工業高等学校	3	川 邊 紫央凜
	昨今の訪日観光客の爆増について。	大分県	大分県立鶴崎工業高等学校	3	佐 藤 瑞 己
	数字で見る子どもの叫び -子どものSOS届いていますか？-	鹿児島県	鹿児島県立明桜館高等学校	2	久 野 仁 香 福 留 蒼 波
	発見 発展 高来小のいいところ 魅力アップをめざして♪	鹿児島県	一般	-	上 田 幸 昭 久木野 恵 子 竹 原 信 汰

第 1 部

小学1・2年生の作品

— 概 要 —

第一部では、小学生低学年ならではの素直な疑問や身近な体験を出発点に、「どうしてだろう」「本当かな」と考え、予想を立てて確かめようとする姿勢が随所に見られました。日常生活や学校、地域、食べ物、生き物、人との関わりなど、身近な題材を自分ごととして捉え、観察やアンケート、記録を通して丁寧に調べている点印象的です。集めた結果は、人数や違いが分かるよう統計グラフで適切に表現されており、比べることで気づいたことや考えたことを、自分の言葉でまとめようとする工夫も多く見られました。単に調べて終わるのではなく、「わかったこと」「考えたこと」へとつなげている点に、考える力の芽生えが感じられます。また、自分で現地に足を運んで確かめたり、家族や周囲の人と協力しながら調査を進めたりするなど、行動を伴った学びが多く見られました。実験や観察の回数を増やし、結果のばらつきにも目を向けながらデータの質を高めようとしている点は、低学年とは思えない意欲的な取組です。中でも特選の作品は、身近な疑問を粘り強く追究し、十分なデータに基づいた分かりやすいグラフと考察を備えており、本部門を代表する完成度の高い取組でした。さらに、色使いやイラスト、配置など、見る人を意識した表現の工夫も随所に見られ、低学年らしい発想力と、伝えようとする意欲が生き生きと表れていました。学びの楽しさと成長が感じられる部門でした。



和歌山県和歌山市立松江小学校
2年 高井 陽太

「子どもパトロールになりたい」という自分の思いを出発点に、毎日の通学路にある危険を一つ一つ確かめ、調べて伝えようとしている姿勢が印象的です。アンケート結果や観察内容を棒グラフや円グラフで整理し、人数や割合の違いが分かるよう工夫されています。実際に現地へ行って気づいた点を図や文章で補い、数値だけでは見えない状況を伝えている点も優れています。調べた結果を比べ、原因や対策へと考えをつなげる流れが明確で、身近な課題を深く考える力がよく表れた完成度の高い作品です。

入選 第1部

小学1・2年生の作品

とばそう紙ひこうき2

紙のおもさと先おれの長さでとばきよりがかわる?

1. 坪量64g/m²の紙で作った先おれ紙ひこうき

2. 坪量70g/m²の紙で作った先おれ紙ひこうき

3. 坪量90g/m²の紙で作った先おれ紙ひこうき

4. 坪量110g/m²の紙で作った先おれ紙ひこうき

5. 坪量135g/m²の紙で作った先おれ紙ひこうき

しらべてわかったこと

	64g/m ²	70g/m ²	90g/m ²	110g/m ²	135g/m ²	
おもさ	かるい	←	←	←	←	おもい
ただし	やかい	←	←	←	←	たがひ
おりのすぢ	おりのすぢ	←	←	←	←	おりのすぢ
とんだ距離	8870	11150	19360	16070	16070	
先おれの長さ	8	8	7	7	8	
とばきよりの長さ	1380	1200	1430	2140	1620	
先おれの長さ	8	1	9	7	5	

まとめ
紙のおもさと先おれの長さによってとばきよりがかわる。坪量110g/m²の紙で作った先おれ紙ひこうきは、とばきよりが最も長い。坪量135g/m²の紙で作った先おれ紙ひこうきは、とばきよりが最も短い。坪量64g/m²の紙で作った先おれ紙ひこうきは、とばきよりが最も長い。坪量70g/m²の紙で作った先おれ紙ひこうきは、とばきよりが最も短い。坪量90g/m²の紙で作った先おれ紙ひこうきは、とばきよりが最も長い。坪量110g/m²の紙で作った先おれ紙ひこうきは、とばきよりが最も短い。坪量135g/m²の紙で作った先おれ紙ひこうきは、とばきよりが最も短い。

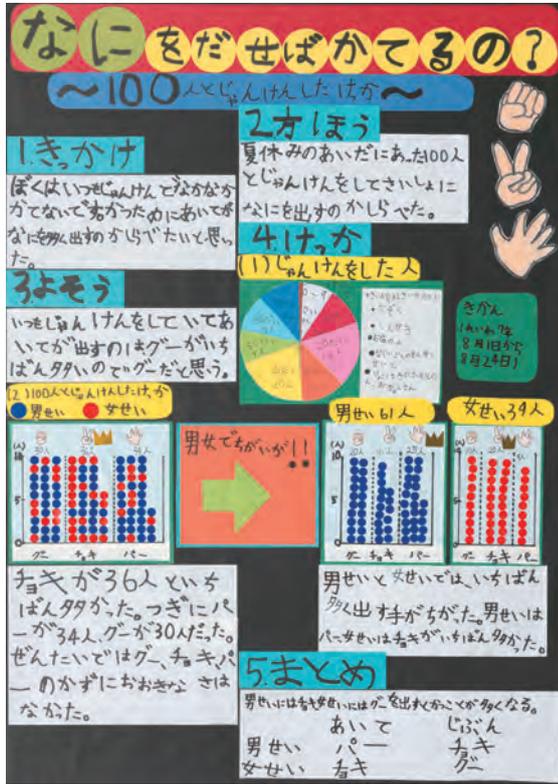
入選一席

富山県砺波市立砺波東部小学校

2年 桑田 知寛

紙ひこうきという身近な題材をもとに、紙のおもさや先おれの長さを変えながら、とんだ距離を何度も測って確かめている点が印象的です。各回の結果を点で丁寧に記録し、条件ごとの違いやばつぎが分かるよう整理されています。結果を表や言葉でまとめ、試したことから分かったことを筋道立てて伝えており、考えながら調べる姿勢がよく表れた作品です。

◎入選



岩手県花巻市立桜台小学校
 2年 高橋 成

じゃんけんで「何を出す人が多いのか」という素朴な疑問をもとに、約100人に調査し、全体と男女別の結果を分けて整理している点が工夫されています。円の図や点を使った表し方により、人数の違いが直感的に分かりやすく示されています。結果から気づいたことを言葉でまとめ、予想と比べて考えている点に、調べて分かったことを伝えようとする姿勢がよく表れています。

小学1・2年生の作品



福島県矢吹町立善郷小学校
 2年 星 まどか

まいにちの食事に素朴な疑問をきっかけに、調べ方や予想をはっきり書いたうえで、計画的に調査を進めている点が優れています。アンケート結果は点や円、折れ線などを使って整理され、人数の違いや一日の変化がわかりやすく示されています。結果を比べながら気づいたことや理由を言葉でまとめており、考えた過程が伝わる構成になっている点も高く評価できます。

茨城県取手市立戸頭小学校
2年 丸山 そよ加

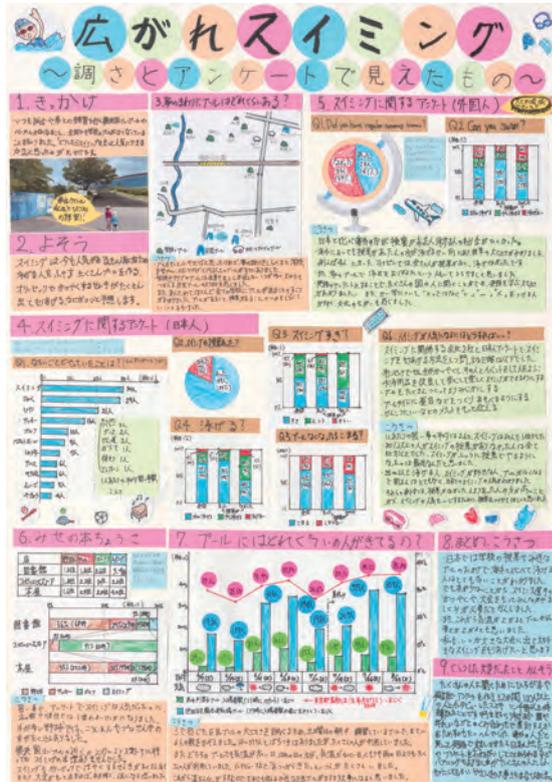
さいころを振るときに「念じること」に意味はあるのかという疑問をもち、条件を変えた二つの調査で確かめている点が印象的です。予想と方法をはっきりさせ、さいころを1,000回も振って結果を集めた粘り強さは高く評価できます。二回目の調査では、ご家族の表情を描いたイラストから実験の大変さが伝わり、結果を比べて気づいたことや感想を、自分の言葉でまとめている点も優れています。



栃木県作新学院小学部
2年 國吉 桃美

登校時と下校時の天気の違いに着目し、1学期の毎日について記録を続けて調べている点は特に素晴らしい取組です。天気を記号で整理し、月別・時間帯別にグラフ化することで、違いが分かりやすく示されています。結果から気づいたことをまとめ、安全への意識につなげている点にも、調べたことを生活に生かそうとする姿勢がよく表れています。

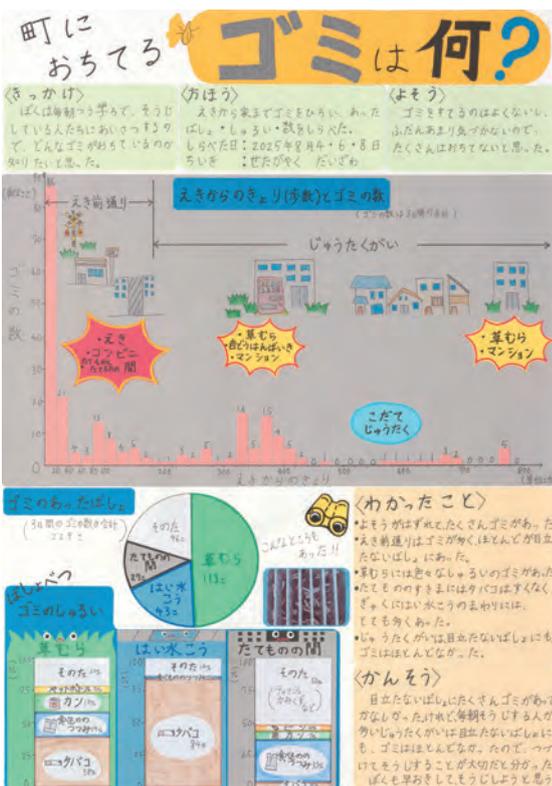




東京都玉川学園小学部

2年 赤岩 俐彩子

身近なスイミングを題材に、きっかけ・予想・調べ方を明確にしながら調査を広げている点が印象的です。地図調査や日本人・外国人へのアンケートに加え、お店の本の内容まで調べており、多面的に考えようとする姿勢がよく表れています。特に英語で外国人に調査した点は大きな挑戦です。結果を多様なグラフで整理し、課題や提案へとつなげた意欲的な作品です。



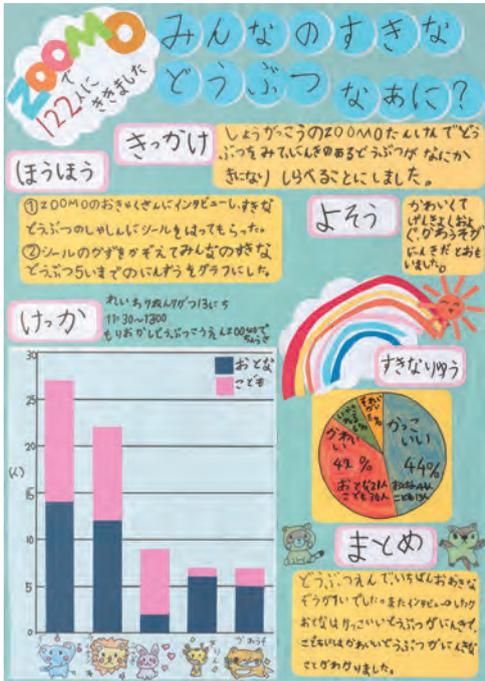
東京都慶應義塾横浜初等部

2年 犬塚 裕太郎

通学路での気づきをもとに、町に落ちているゴミについて、駅からの距離とごみの数に着目して調べている点が優れています。捨てられている場所ごとのごみの種類の違いも、棒グラフや円の図で分かりやすく整理されています。結果から分かったことを踏まえ、「早起きして掃除しようと思う」と自分の行動に結び付けており、調べた内容を生活に生かそうとする姿勢がよく表れています。

佳作 第1部

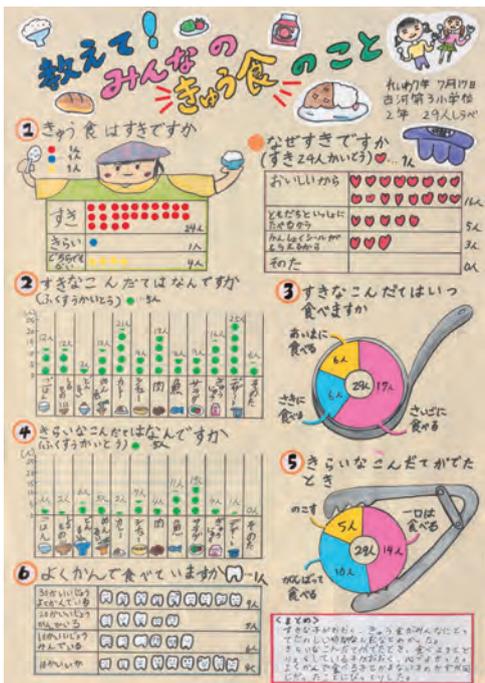
◎佳作



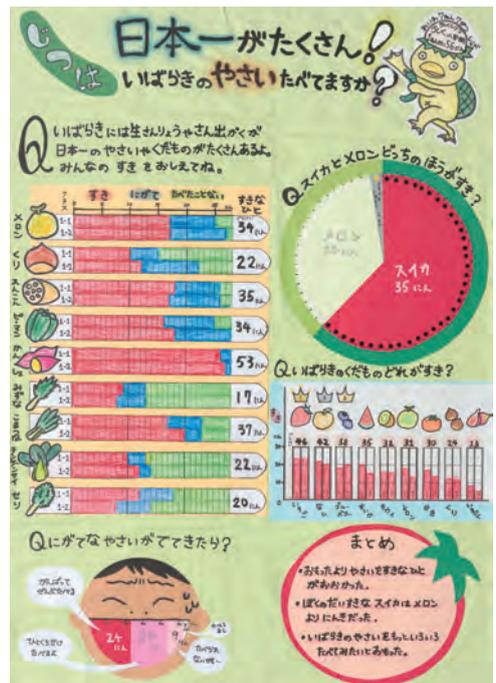
岩手県岩手大学教育学部附属小学校
1年 松木 芹奈



茨城県牛久市立中根小学校
2年生 沢 真子

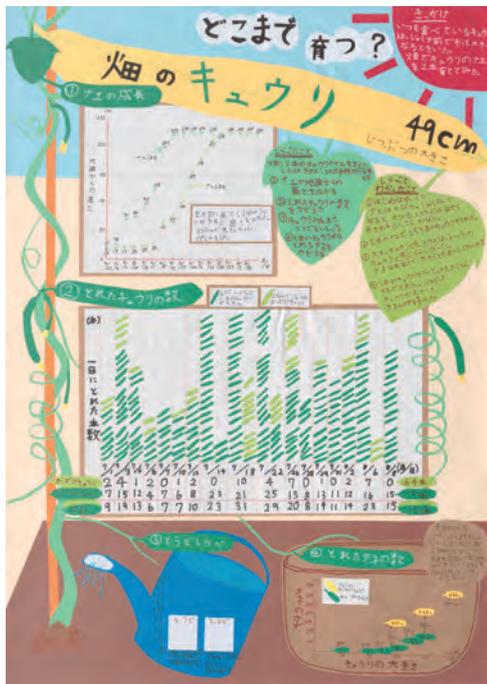


茨城県古河市立古河第三小学校
2年 戎野 真央

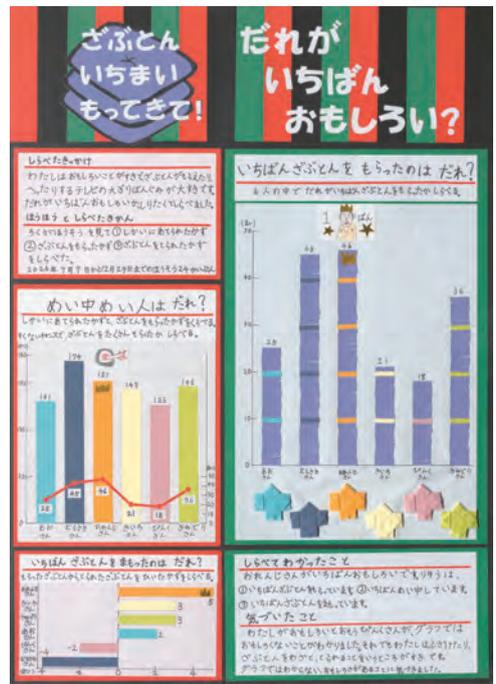


茨城県牛久市立牛久小学校
1年 山田 樹

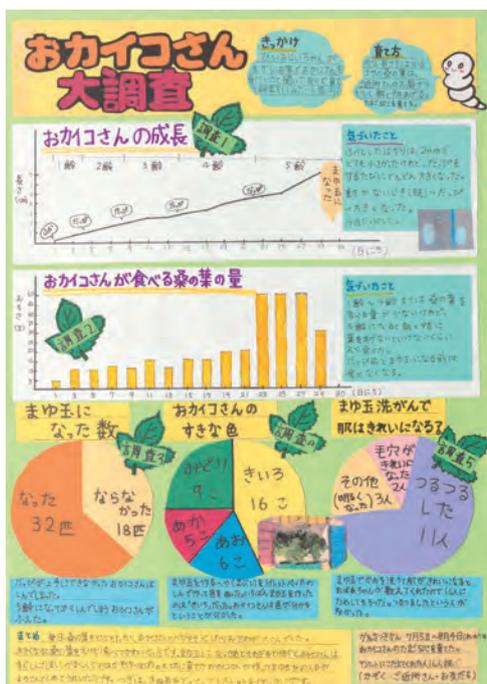
小学1・2年生の作品



神奈川県慶應義塾横浜初等部
2年 茂木 愛奈



神奈川県慶應義塾横浜初等部
1年 有田 希己



山梨県山梨学院小学校
2年 高野 結羽



静岡県静岡市立西豊田小学校
2年 徳田 紬

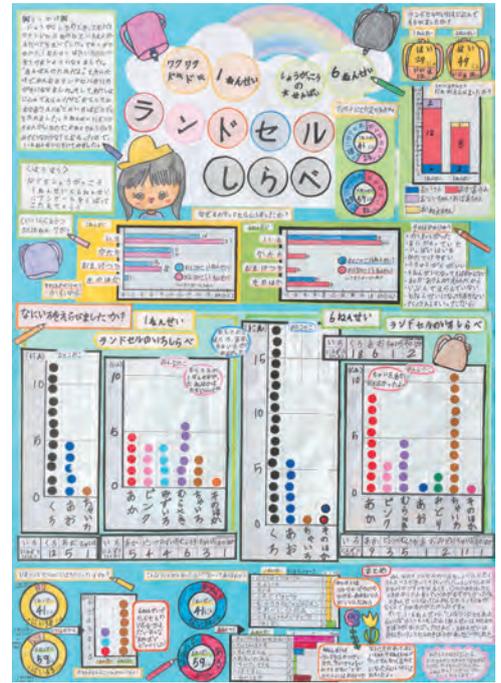
小学1・2年生の作品

佳作 第1部

小学1・2年生の作品



愛知県岡崎市立上地小学校
2年 高辻 彩葉



和歌山県和歌山市立名草小学校
1年 嶋 藤 慧



徳島県鳴門教育大学附属小学校
1年 青木 彩香



香川県香川大学教育学部附属高松小学校
1年 松下 古都



香川県香川大学教育学部附属高松小学校
1年 宮川 咲由菜



香川県土庄町立土庄小学校
2年 山本 朱莉



香川県土庄町立土庄小学校
2年 億 兼多



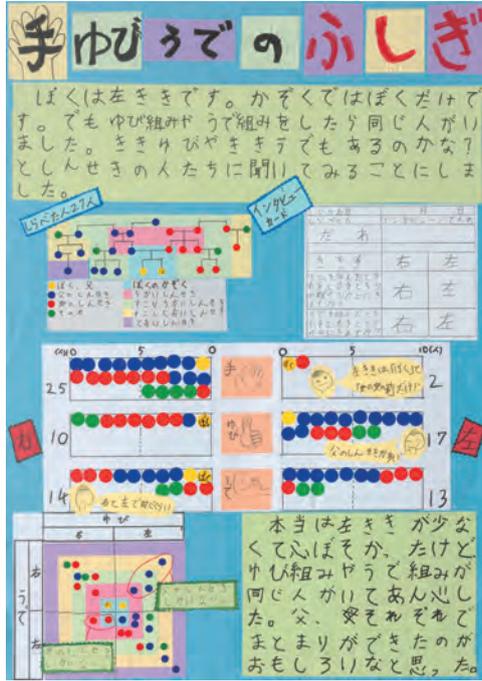
熊本県山鹿市立菊鹿小学校
2年 平田 望来生・渡邊 大和
釣井 孝臥・水谷 優月

小学1・2年生の作品

奨励賞 第1部

◎奨励賞

小学1・2年生の作品



秋田県秋田大学教育文化学部附属小学校
2年 加賀屋 慶志

第 2 部

小学3・4年生の作品

— 概 要 —

第二部では、調べた結果^{けっか}を示すだけで終わらせず、その背景^{はいけい}や理由に目を向けながら、考えを深めていく姿勢^{しせい}が多く作品に見られました。日常^{にちじょう}の遊び、食^{しょく}、環境^{かんきょう}、地域^{ちいき}、防災^{ぼうさい}、学習^{がくしゆ}習慣^{じゆかん}など題材は多様でありながら、「なぜそうなっているのか」「本当はどうなのか」を確かめたいという共通^{きょうつう}した問題意識^{いしき}が明確^{めいかく}に表れています。アンケートや観察^{かんさつ}、計測^{けいそく}、インタビューなどを通して集めたデータを統計^{とうけい}グラフや図で整理し、数量^{すうりやう}をもとに比較^{ひかく}したり、最初^{さいしよ}の問いに対する回答^{けっか}結果^ふを踏まえ、さらに設問^{せつもん}を工夫^{くふう}して検証^{けんしょう}を深めるなど、調査を一度で終わらせない構成は、3・4年生ならではの思考の広がりを感じさせます。また、調査結果^{けんしょう}から現状^{げんじょう}の課題^かを示し、周囲^{しゅうい}に気づき^{きずき}を促す啓蒙^{けいもう}的な内容^{ないよう}を、感想^{こうそう}ではなくデータに基づいて表現^{ひょうげん}している点も本部門^{ほんぶもん}の特徴^{とくちょう}です。特選^{とくせん}の作品は、身近な問題意識^{ていねい}を丁寧^{ていねい}に掘り下げ、設問^{せつもん}の工夫^{くふう}や多角的なデータ整理を通して、理由^{りゆう}に踏み込んだ考察^{こうさく}を行い、読み手^{なつとくかん}に納得感^{なつとくかん}を与える構成となっていました。一方で、調査^{けんしょう}の目的^{もくてき}と設問^{せつもん}、考察^{こうさく}のつながりがやや弱くなり、結果^{けっか}の読み取りが感想^{こうそう}にとどまってしまった作品も見られましたが、前の調査結果^{けんしょう}を生かして問い^{こうしん}を更新^{こうしん}していく意識^{いしき}をもつことで、さら^{せつとくりよく}に説得力^{はつてん}のある表現^{ひょうげん}へと発展^{はつてん}することが期待^{きたい}されます。



ひなん所でストレスなく眠れる 防災ベッドはどれ？

きっかけ
ニュースで東南海地震について知った。地震や津波で家が倒壊してはならないので、災害時に安心して眠れる防災ベッドを探した。どの防災ベッドがよいのかを調べたい。

アンケート①
アンケートに協力してくれた人185人
アンケートを6月2023年7月3日～24日
方法 4つのベッドを実験しわけてもらいアンケートに答えてもらった。

①身長
身長120-140cm未満
身長140-160cm未満
身長160-180cm未満
身長180cm未満

②年齢
10-19歳
20-29歳
30-39歳
40-49歳
50歳以上

③安心感
安心感 ねごちがいい
安心感 ねごちが悪い

④寝心地
寝心地 心地がいい
寝心地 心地が悪い

⑤寝る場所
寝る場所 自宅
寝る場所 避難所

⑥寝る場所
寝る場所 自宅
寝る場所 避難所

⑦寝る場所
寝る場所 自宅
寝る場所 避難所

⑧寝る場所
寝る場所 自宅
寝る場所 避難所

⑨寝る場所
寝る場所 自宅
寝る場所 避難所

⑩寝る場所
寝る場所 自宅
寝る場所 避難所

⑪寝る場所
寝る場所 自宅
寝る場所 避難所

⑫寝る場所
寝る場所 自宅
寝る場所 避難所

⑬寝る場所
寝る場所 自宅
寝る場所 避難所

⑭寝る場所
寝る場所 自宅
寝る場所 避難所

⑮寝る場所
寝る場所 自宅
寝る場所 避難所

⑯寝る場所
寝る場所 自宅
寝る場所 避難所

⑰寝る場所
寝る場所 自宅
寝る場所 避難所

⑱寝る場所
寝る場所 自宅
寝る場所 避難所

⑲寝る場所
寝る場所 自宅
寝る場所 避難所

⑳寝る場所
寝る場所 自宅
寝る場所 避難所

㉑寝る場所
寝る場所 自宅
寝る場所 避難所

㉒寝る場所
寝る場所 自宅
寝る場所 避難所

㉓寝る場所
寝る場所 自宅
寝る場所 避難所

㉔寝る場所
寝る場所 自宅
寝る場所 避難所

㉕寝る場所
寝る場所 自宅
寝る場所 避難所

㉖寝る場所
寝る場所 自宅
寝る場所 避難所

㉗寝る場所
寝る場所 自宅
寝る場所 避難所

㉘寝る場所
寝る場所 自宅
寝る場所 避難所

㉙寝る場所
寝る場所 自宅
寝る場所 避難所

㉚寝る場所
寝る場所 自宅
寝る場所 避難所

㉛寝る場所
寝る場所 自宅
寝る場所 避難所

㉜寝る場所
寝る場所 自宅
寝る場所 避難所

㉝寝る場所
寝る場所 自宅
寝る場所 避難所

㉞寝る場所
寝る場所 自宅
寝る場所 避難所

㉟寝る場所
寝る場所 自宅
寝る場所 避難所

㊱寝る場所
寝る場所 自宅
寝る場所 避難所

㊲寝る場所
寝る場所 自宅
寝る場所 避難所

㊳寝る場所
寝る場所 自宅
寝る場所 避難所

㊴寝る場所
寝る場所 自宅
寝る場所 避難所

㊵寝る場所
寝る場所 自宅
寝る場所 避難所

㊶寝る場所
寝る場所 自宅
寝る場所 避難所

㊷寝る場所
寝る場所 自宅
寝る場所 避難所

㊸寝る場所
寝る場所 自宅
寝る場所 避難所

㊹寝る場所
寝る場所 自宅
寝る場所 避難所

㊺寝る場所
寝る場所 自宅
寝る場所 避難所

まとめ
①1人で寝る時はダンボールベッドがよい。
②ダンボールベッドは安心感、寝心地、寝る場所がよい。
③年齢、身長、寝る場所によって寝る場所が異なる。
④寝る場所は自宅よりも避難所の方がよい。
⑤寝る場所は自宅よりも避難所の方がよい。

徳島県藍住町立藍住北小学校
4年 宮本真聡

身近な防災というテーマを自分事として捉え、「避難所で備えるならどれがよいか」という問いを明確に立てて調べている点が印象的です。複数のベッドを比べるだけでなく、年齢や身長、普段の寝具の違いといった条件ごとに結果を整理し、感じ方の違いを丁寧に読み取っています。特に「なぜそう思ったのか」を理由まで掘り下げ、安定感やねごち、安心感と結び付けて考察している点は高く評価できます。統計グラフを適切に用いながら、調査から結論へと無理なくつながる構成となっており、学びを生かした探究の姿勢がよく表れた完成度の高い作品です。

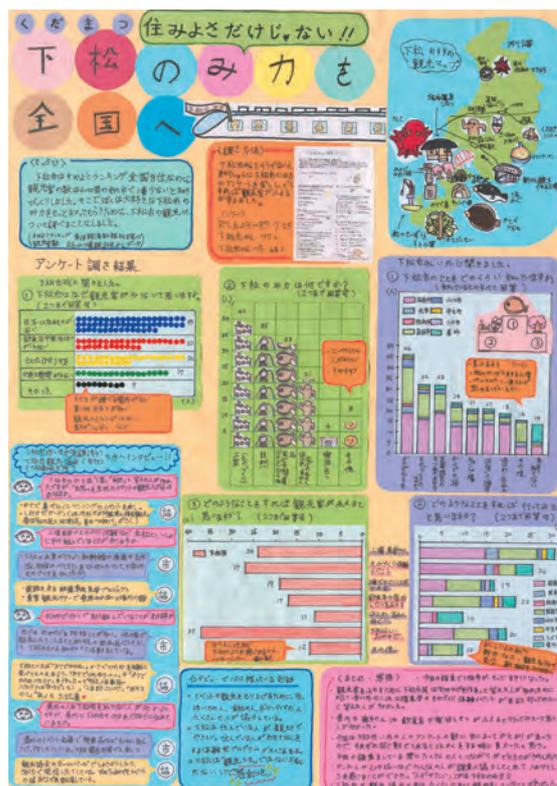
広島県学校法人安田学園安田小学校
4年 平野 航生

話題になっている備蓄米について、「実際に食べたことがあるのか」という疑問から調査を始め、身近なニュースを自分の生活と結びつけて考えている点が印象的です。食べた理由・食べていない理由に加え、味の感想や売れ行き状況まで調べ、結果を統計グラフで分かりやすく整理しています。安さだけでなく、日本のお米文化を大切にしたいという考察に広げている点も評価できます。



山口県下松市立公集小学校
4年 藤屋 陽向

下松市の観光客数に着目し、市内外へのアンケートやインタビューを通して理由を探っている点が印象的です。イラストを用いて地域の特色や魅力を視覚的に示し、土地のイメージを分かりやすく伝えています。インタビューでは、特に心に残った体験談を丁寧に取り上げ、数値だけでは見えない下松の魅力を浮かび上がらせている点も評価できます。



佳作 第2部

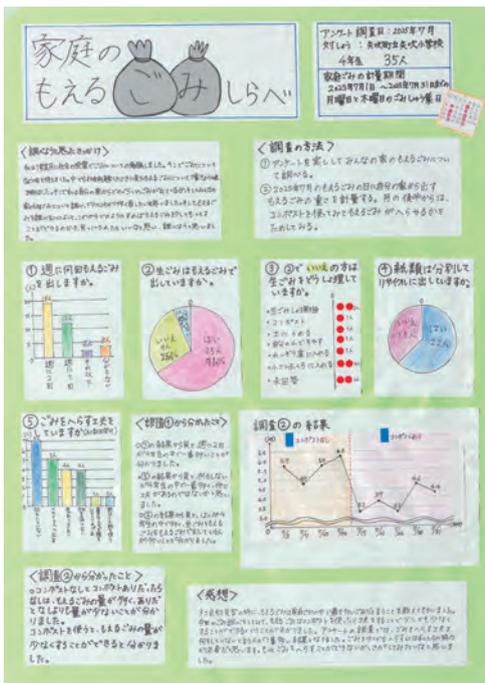
◎佳作



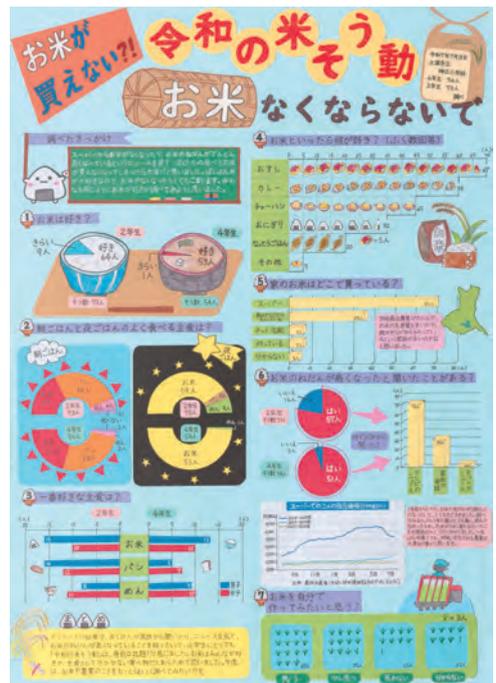
山形県山形大学附属小学校
4年 和田 紬希



福島県いわき市立平第五小学校
3年 川崎 湊太郎



福島県矢吹町立矢吹小学校
4年 須藤 真央

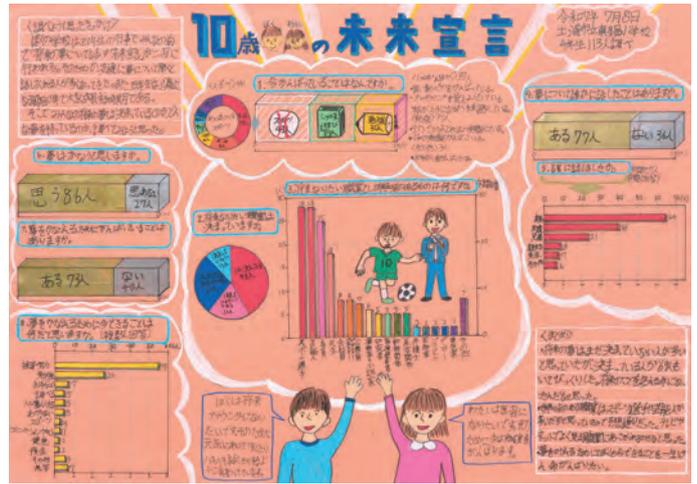


茨城県土浦市立神立小学校
4年 中山 陽翔
2年 中山 裕翔

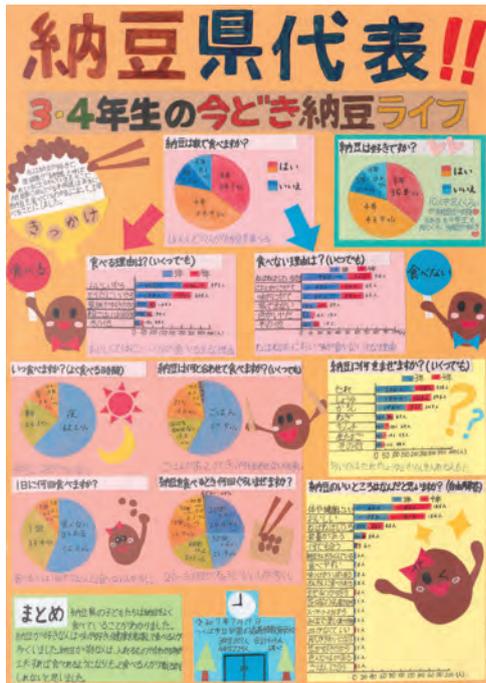
小学3・4年生の作品



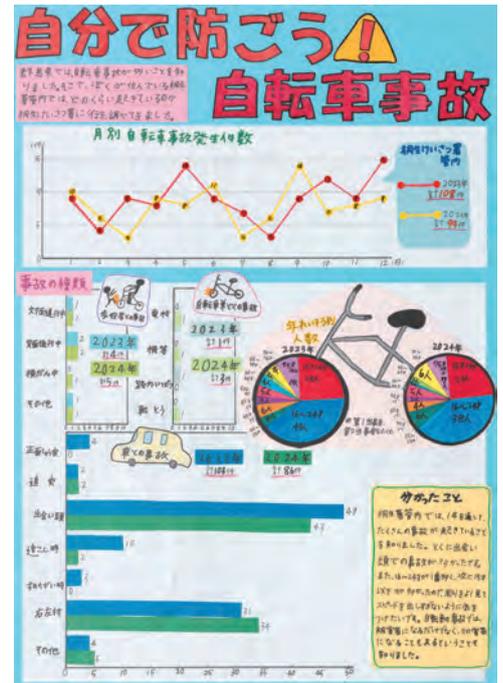
茨城県水戸市立笠原小学校
3年 木村 帝利



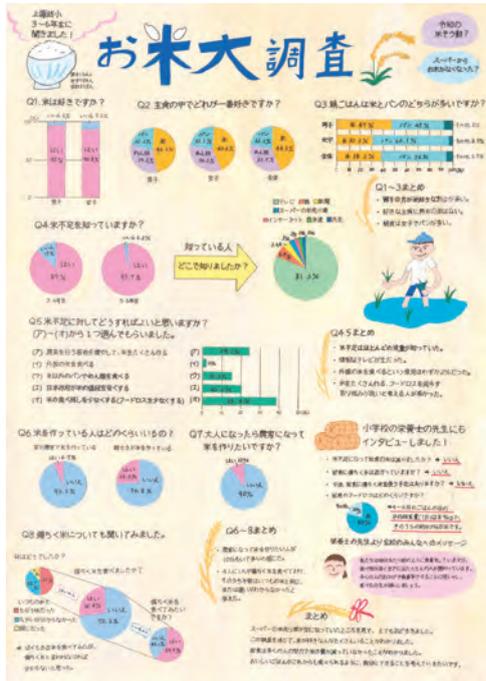
茨城県土浦市立真鍋小学校
4年 上原 颯真



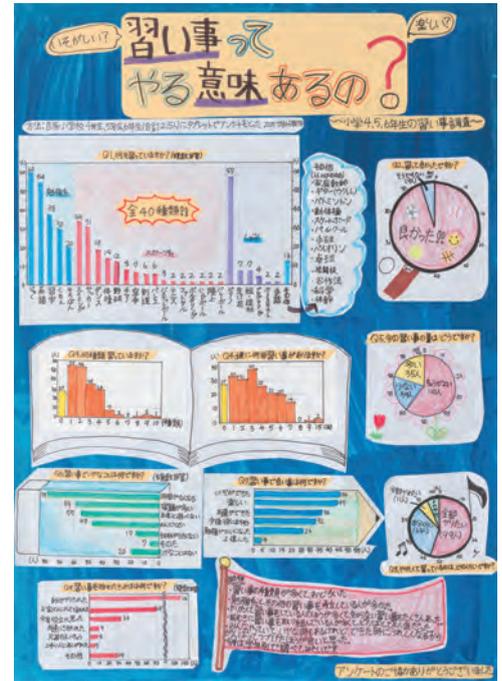
茨城県つくば市立学園の森義務教育学校
4年 中垣 ひなた



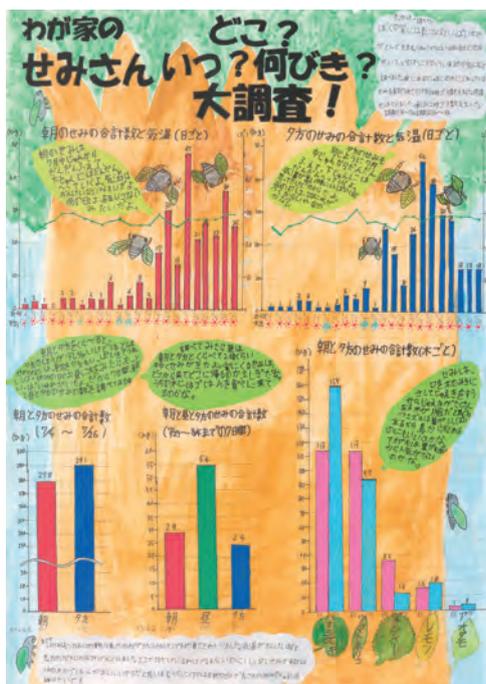
群馬県桐生市立川内小学校
4年 森下 結也



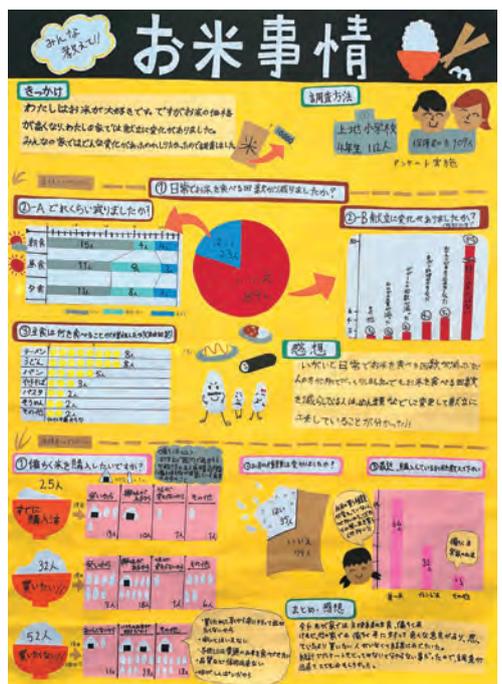
長野県諏訪市立上諏訪小学校
3年 小池 進 弥



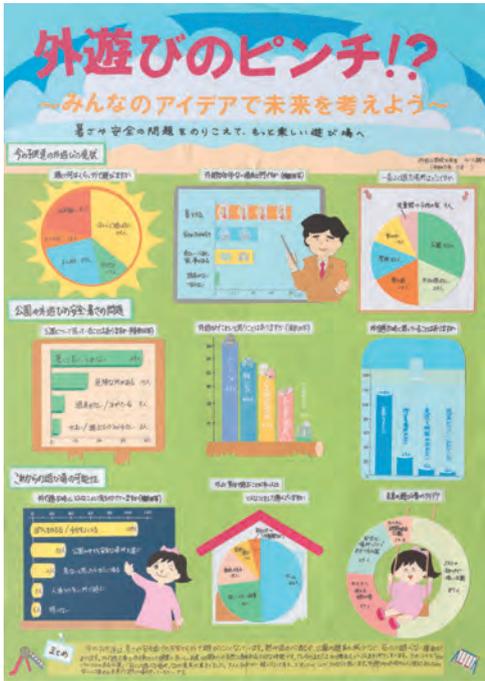
静岡県富士市立吉原小学校
4年 佐々木 隆太郎



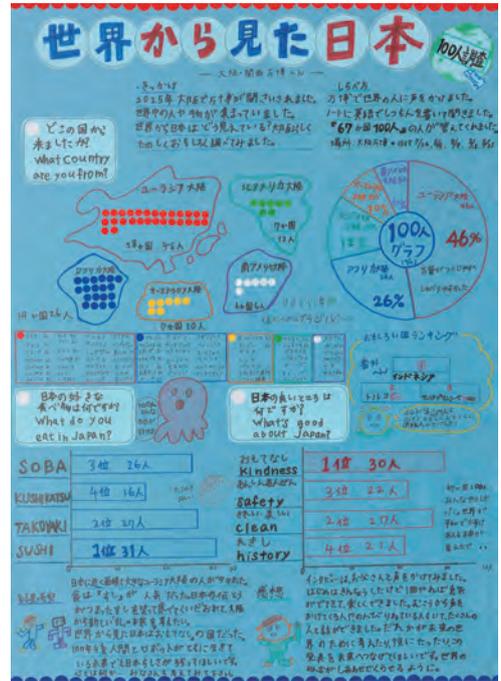
静岡県富士市立田子浦小学校
3年 鈴木 權



愛知県岡崎市立上地小学校
4年 川 澄 梓

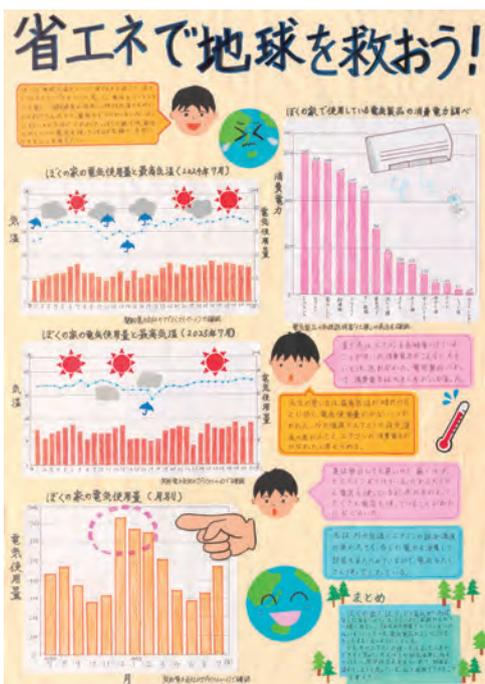


愛知県岡崎市立井田小学校
4年 成瀬 絢音

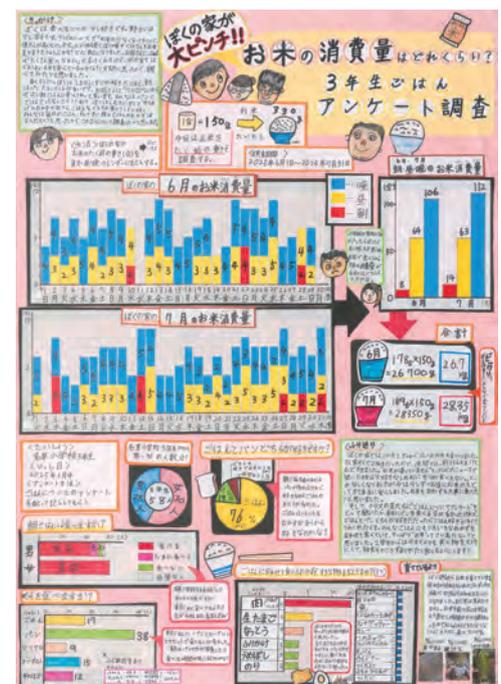


大阪府熊取町立西小学校
4年 吉川 楓馬

小学3・4年生の作品



兵庫県小野市立大部小学校
4年 岡田 治樹

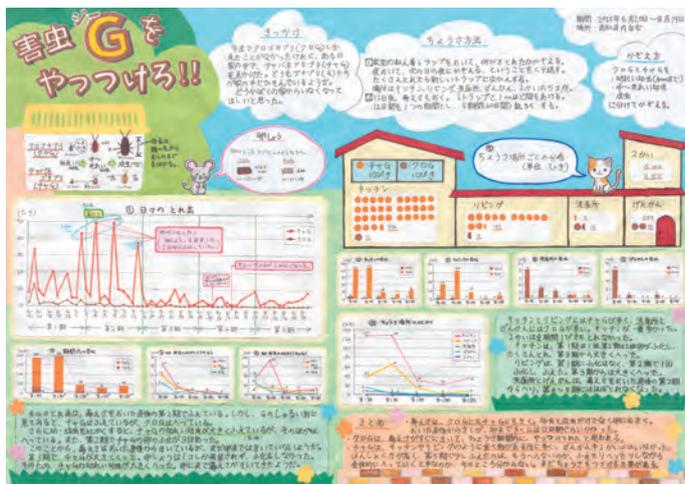


和歌山県和歌山市立名草小学校
3年 嶋 康勝

奨励賞 第2部

◎奨励賞

小学3・4年生の作品



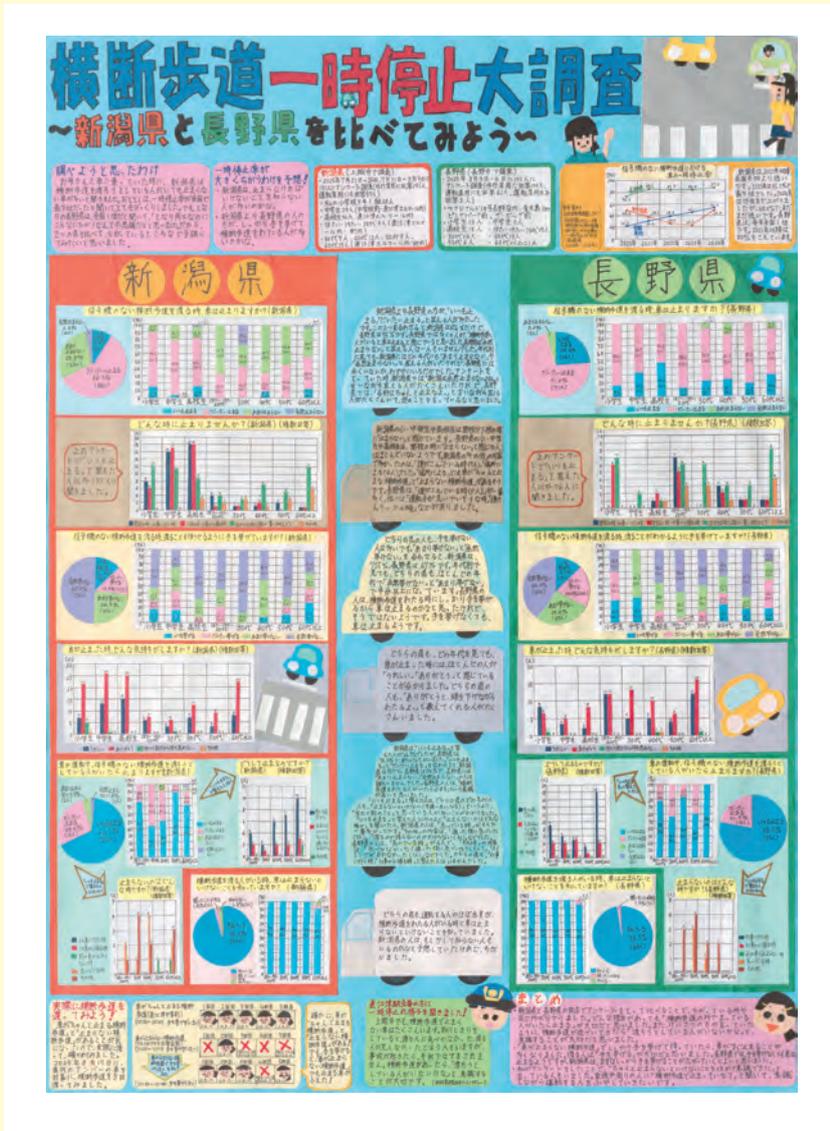
高知県学校法人高知学園高知小学校
4年 福間星之介

第 3 部

小学5・6年生の作品

— 概 要 —

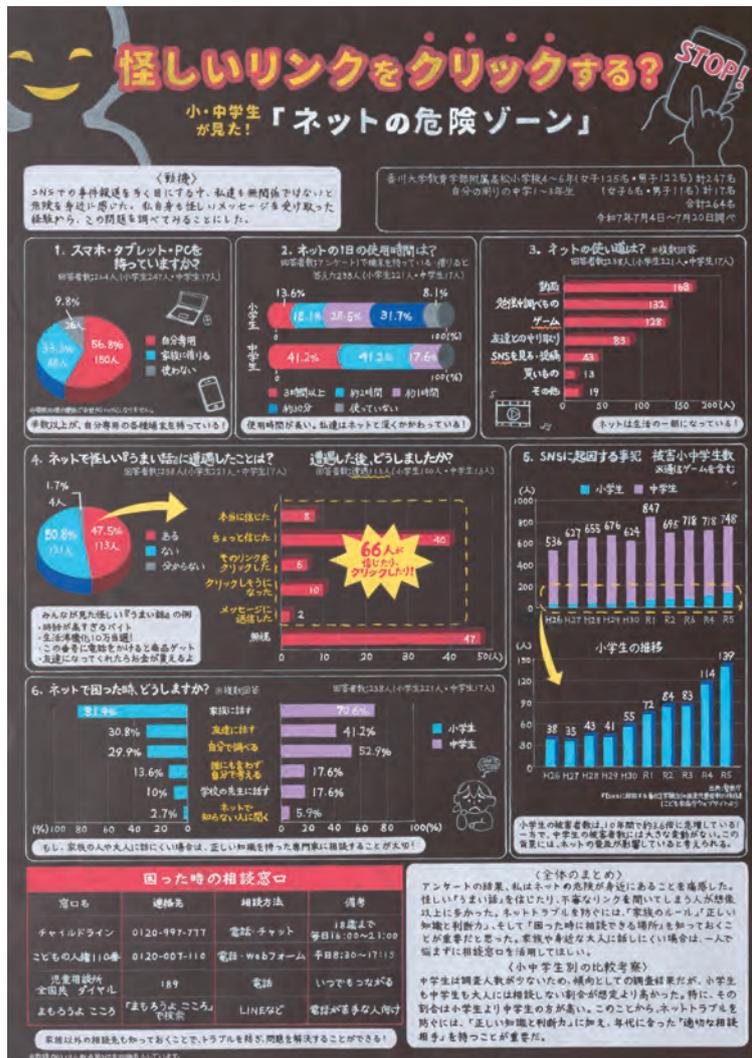
本部門の作品全体を通して、身近な疑問や日常の違和感を出発点に、自分なりの問いを立て、データや調査結果を用いて確かめようとする姿勢が随所に見られました。アンケート調査、既存の公的統計、実地での観察や聞き取りなど手法も多様で、結果をグラフや図に整理し、読み手に分かりやすく伝えようとする工夫が積み重ねられています。テーマも、防災、交通安全、健康、家族、地域、環境など幅広く、社会とのつながりや他者へのまなざしを意識した視点が共通して感じられました。一方で、数値が示す意味の説明や、結果と考察のつながり、調査条件や前提の整理といった点では、さらに踏み込むことで説得力が一層高まる作品も多く、今後の成長が期待されます。その中で特選の作品は、問いの設定が非常に明確で、目的に応じたデータ選択と比較の視点が的確でした。分析結果を丁寧に読み取りながら、「だから何が言えるのか」「自分たちの生活や行動とどう関わるのか」まで一貫して考察し、構成や表現も安定しており、読み手に強い納得感を与える内容でした。データの扱い方、考察の深さ、伝えたいメッセージの明確さのいずれにおいても完成度が高く、本部門を代表する作品として際立った存在であったと思います。全体として、データを通して社会や自分自身を理解し、より良くしようとする学びの姿勢が確かに育まれていることが感じられる、充実した部門であったと評価できます。



新潟県上越市立国府小学校
5年 金子 凜 奈

全国調査で上位と下位に位置する新潟県と長野県が、地理的に隣接して^{りんせつ}いながら横断歩道での対応に差が見られる点に着目した視点は、身近な疑問を統計的に捉え直す優れた問題設定です。自分の住んでいない地域まで足を運び、交番の方へのインタビューや横断歩道での実態観察・実験を行うなど、調査への主体的な姿勢が際立っています。結果を比較しやすいグラフで整理し、さらに「手を上げる」行動が状況改善につながる可能性まで提案している点は、分析を社会的行動の提言へと発展させており、高く評価できます。

小学5・6年生の作品



香川県香川大学教育学部附属高松小学校
6年 西尾 凜子

小学生と中学生の^{ちが}違いや年ごとの変化に注目し、ネット上の「怪しいリンク」をめぐり利用実態や危険性を多角的に整理しています。実際のデータをもとに、被害につながりやすい状況や注意すべき点を具体的に示し、さらに困ったときの相談先までまとめている点から、調べたことを自分だけで終わらせず、周りの人にも役立てようとする姿勢がよく表れています。

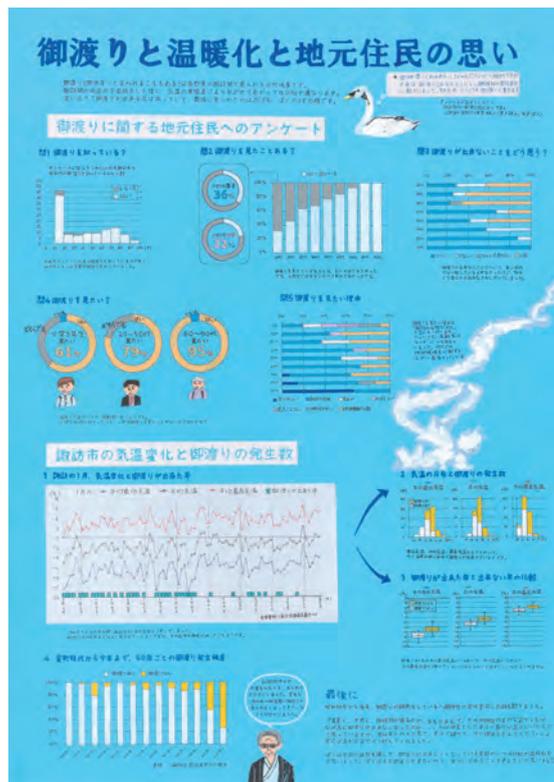
埼玉県新座市立栗原小学校
6年 塩川七緒

日本の猛暑を「相手を知る」という視点で捉え、気温やWBGT（暑さ指数）、時間帯別の熱中症発生状況などを多面的に整理している点が印象的です。公的データと身近な調査を組み合わせ、小学生自身の行動や対策へと結び付けて考えている構成に説得力があります。暑さとの向き合い方を具体的に示し、未来の行動提案まで踏み込んでいる点に、統計を生かした問題解決の意識が感じられます。



長野県諏訪市立上諏訪小学校
5年 大場翔太

地域に伝わる御渡りに着目し、住民アンケートと長期の気温データを組み合わせ、現象の変化を捉えています。世代別の受け止め方や気温分布との関係を整理し、温暖化が地域文化に与える影響を具体的に示した点が印象的です。箱ひげ図・ヒストグラムも用いて特徴を分かりやすく示しています。身近な現象を科学的に考察し、未来への視点へとつなげている点を評価します。

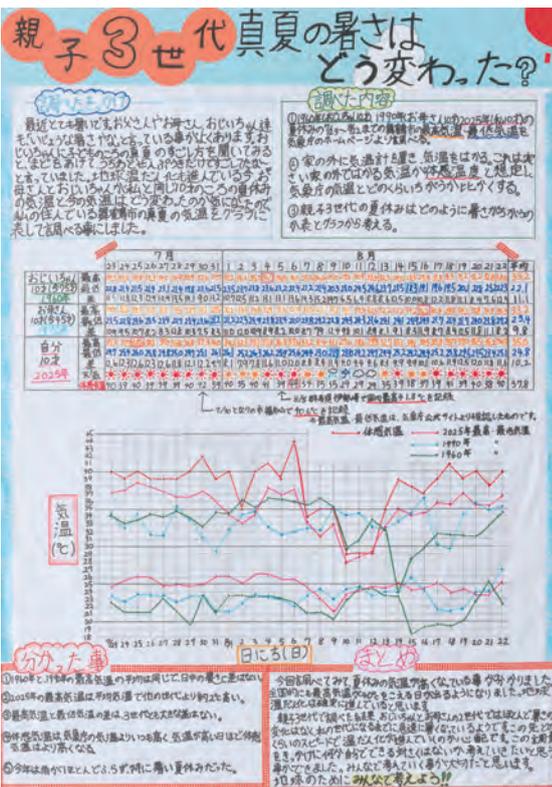




静岡県加藤学園秀初等学校

5年 利根 漣

かくもいき おつちゅうしょうかんじやう
 各地域の熱中症患者数と気温データを組み
 合わせ、発生リスクを多角的に捉えています。
 年ごとの比較や地域差、高齢者割合との関係に
 も着目し、結果を丁寧に読み取っている点が印
 象的です。複数のグラフを使い分けながら原因
 を整理し、私たちにできる対策へとつなげてお
 り、データを通して身近な課題を考えようとす
 る姿勢がよく表れています。



京都府舞鶴市立中筋小学校

5年 濱上 芽依

親・子・祖父母の三世代に着目し、同じ時期
 の気温データを比較することで、真夏の暑さの
 変化を具体的に捉えています。体感温度と市の
 気象データを組み合わせ、その違いにも目を向
 けている点が工夫されています。結果を丁寧に
 整理し、世代間の感じ方の違いをデータから考
 察しようとする姿勢がよく表れています。熱中
 症は今後も重要な課題であり、その理解につな
 がる点も評価できます。

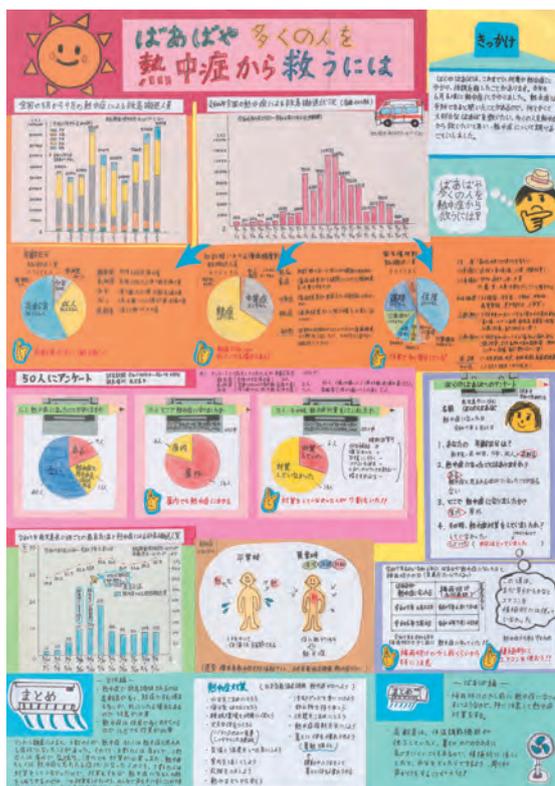
愛媛県今治市立乃万小学校
6年 小澤航也

今治市の地産地消に着目し、給食や家庭での食生活を通して大人と子どもの意識や行動の違いを丁寧に整理しています。円グラフや棒グラフを使い分け、認知から実践、課題までを分かりやすく示している点が良いです。調査結果をもとに地域とのつながりや今後の工夫まで考えており、デザインも明るく、イラストの活用も効果的です。

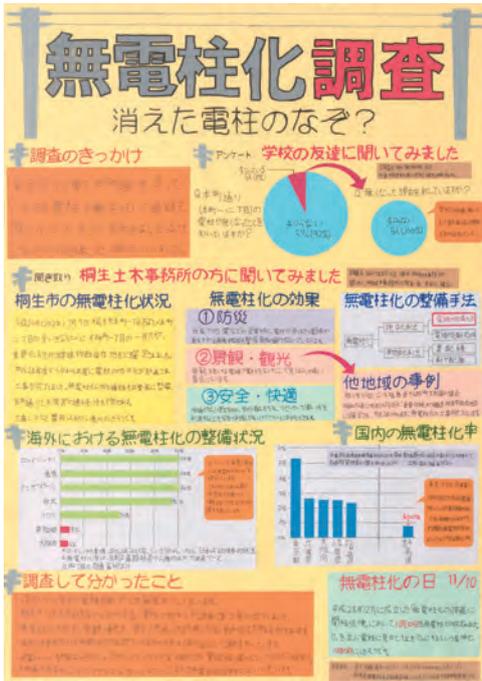


鹿児島県鹿児島大学教育学部附属小学校
5年 竹下凜

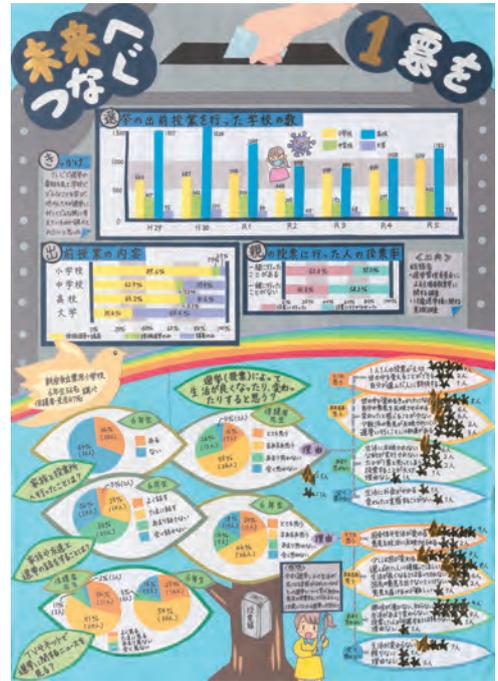
身近な存在である「ばあば」のことを思い、問題解決につなげようとする視点が大切にされています。熱中症による救急搬送データや年齢・発生場所の内訳を丁寧に整理し、身近なアンケート結果とも結び付けて多角的にとらえています。円グラフや棒グラフを使い分け、原因から対策へと流れが明確な構成になっており、言いたかったことが伝わりやすいと思います。



◎佳作



群馬県桐生市立南小学校
5年 宮崎 亮

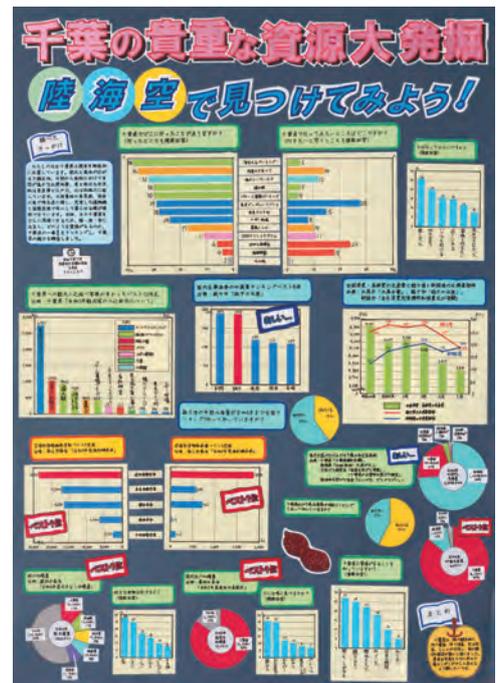


埼玉県新座市立栗原小学校
6年 内藤 環

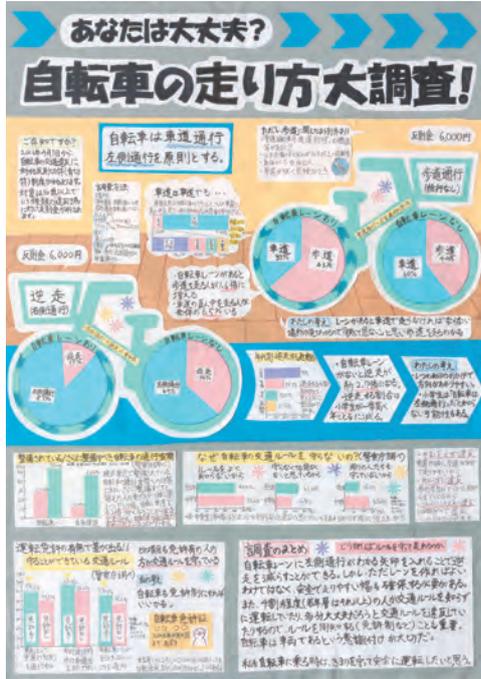
小学5・6年生の作品



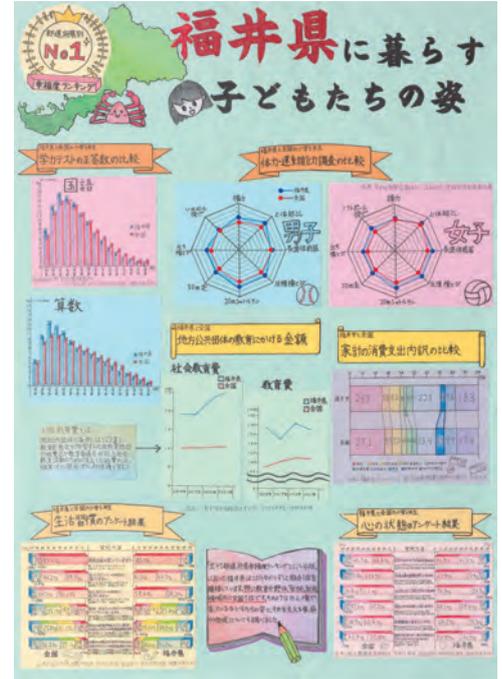
千葉県茂原市立萩原小学校
6年 原 直希



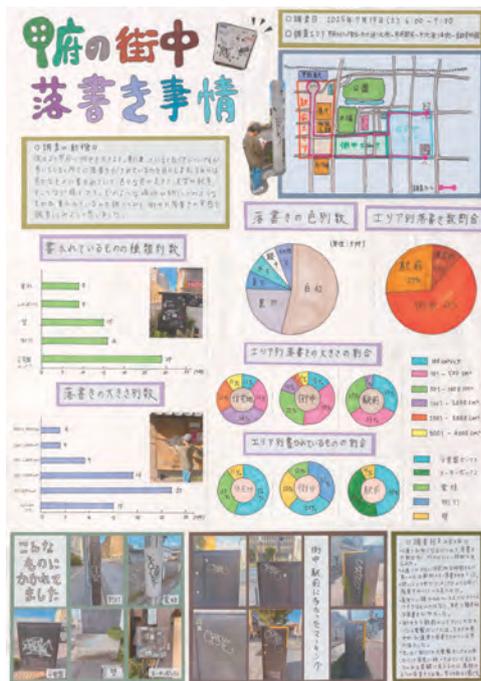
千葉県茂原市立五郷小学校
6年 風戸 杏璃



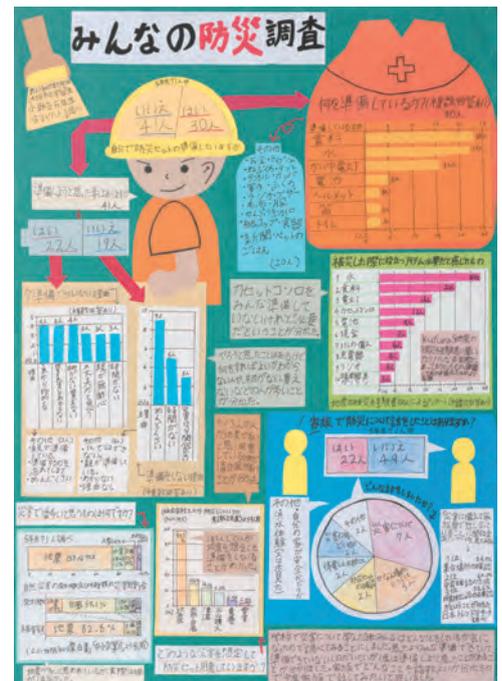
千葉県松戸市立相模台小学校
5年 鈴木 ちとせ



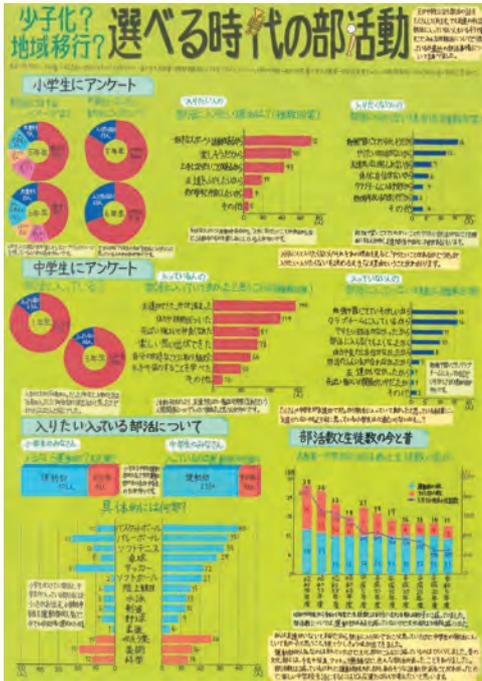
神奈川県横須賀市立逸見小学校
5年 乾 有希



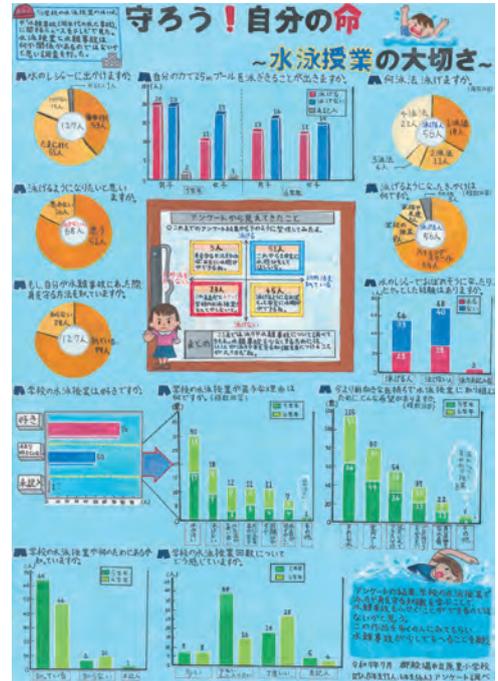
山梨県山梨学院小学校
6年 雨宮 楽



岐阜県大垣市立宇留生小学校
5年 本間 啓葉



静岡県富士市立吉原小学校
5年 村上 堇 伶



静岡県殿場市立原里小学校
5年 福井 永 愛

小学5・6年生の作品



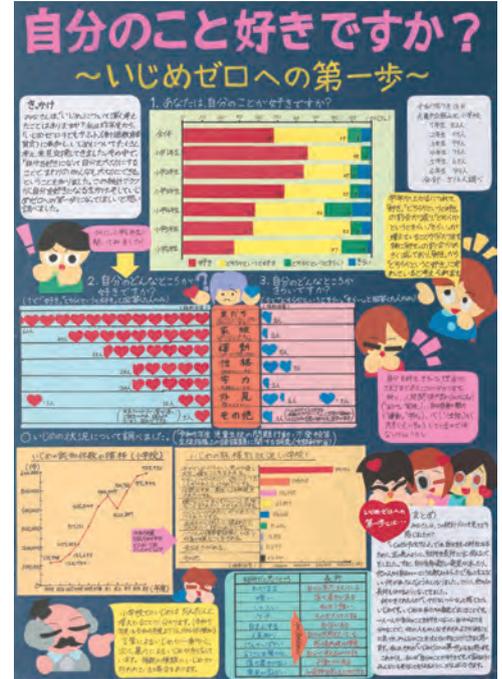
愛知県岡崎市立三島小学校
6年 江 間 桜 子



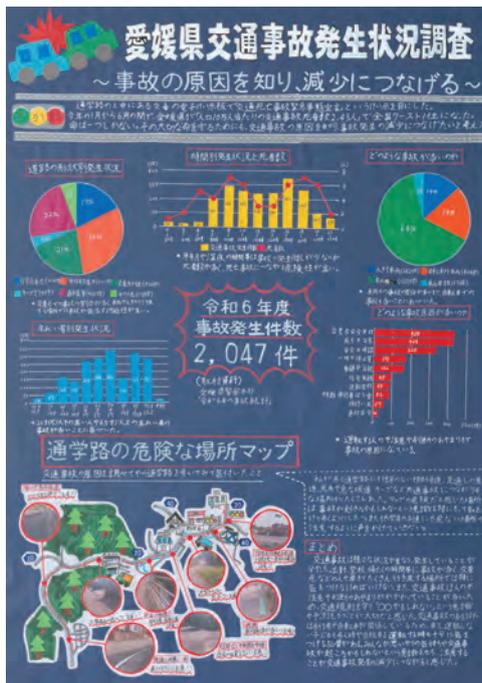
大阪府河内長野市立長野小学校
5年 杉 原 あおい



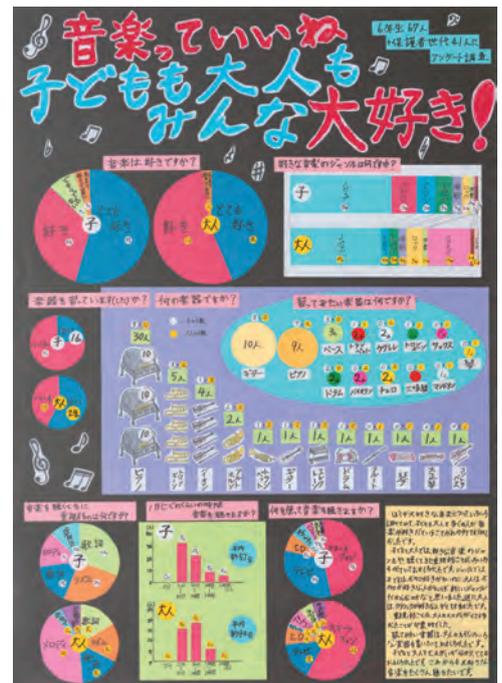
奈良県葛城市立當麻小学校
6年 山本 康太郎



香川県丸亀市立飯山北小学校
6年 松本 紗良



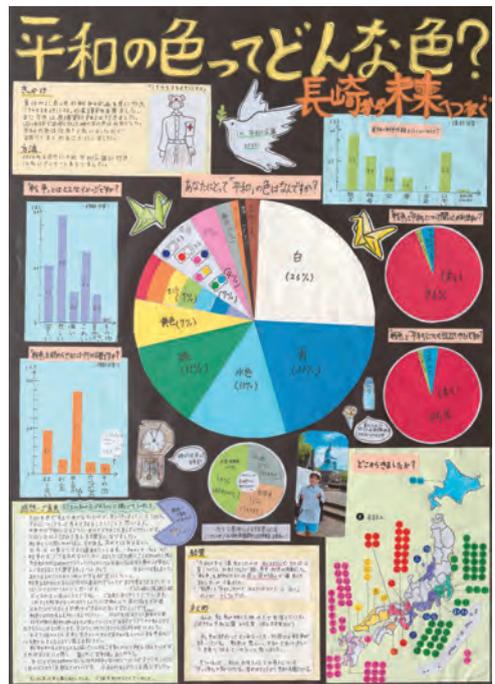
愛媛県松山市立伊台小学校
6年 丸山 乃愛



愛媛県新居浜市立神郷小学校
6年 森本 正虎



佐賀県小城市立牛津小学校
6年 西口 ちはや



長崎県長崎大学教育学部附属小学校
5年 前山 花



鹿児島県鹿児島大学教育学部附属小学校
5年 塩満 美日



鹿児島県鹿児島大学教育学部附属小学校
5年 川池 結月
2年 川池 悠仁

小学5・6年生の作品

第 4 部

中学生の作品

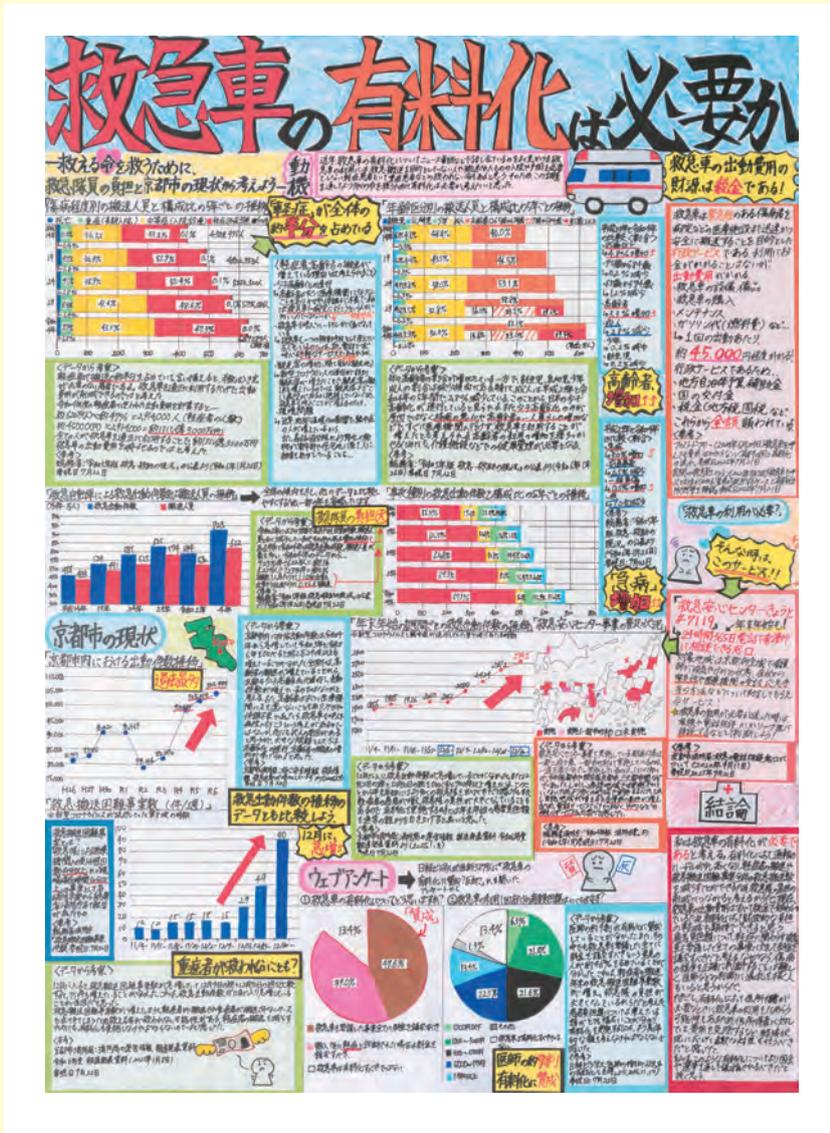
— 概 要 —

本年度の応募作品は、どれも中学生とは思えないほどの探究力と表現力に満ちており、統計データを起点とした社会課題への関心の深さが印象的でした。いずれの作品も、身の回りの疑問やニュースへの関心を出発点とし、文献調査やアンケート、現場取材など多様な手法を取り入れながら、独自の視点で問題を掘り下げていました。グラフや図表の構成も工夫されており、見る者の目を引きつけ、説得力ある主張を形づくっています。単なるデータの提示にとどまらず、因果関係や背景要因にまで踏み込み、自分の考えとして提案や結論を導いている点が素晴らしく、社会との接点を意識した探究の質的向上が感じられました。

これは、学習指導要領が重視する「統計的な探究プロセス」にも合致しています。具体的には、問題発見・仮説の設定・データの収集と分析・結論の構築という一連のプロセスを、まさにみなさんの探究作品が体現しています。中学生がこの段階で、公共性や倫理性を意識しながら統計的思考力を身につけていることは、これからの情報社会において極めて価値の高い学びです。

一方で、いくつかの作品では、出典の記載が不十分であった点が惜しまれます。統計データを活用する上では、情報の信頼性と再現性を担保するために、出典を明記することが不可欠です。データの出所が明らかであればこそ、主張の説得力が増し、聴衆との信頼関係が生まれます。引用元を明示することは、自分の考えと他者の知見を区別するためにも重要です。これは中学生にとっても大切な研究姿勢であり、社会的な情報活用能力の基礎といえるでしょう。

探究の入り口は「問い」です。皆さんの問いは、すでに深く社会とつながっています。この経験を糧に、今後ますます広く深い学びを続けてください。素晴らしい作品をありがとうございました。来年度の応募もお待ちしております。



京都府京都教育大学附属京都市小中学校
8年 岸谷実玲

救急車の有料化という難しい社会課題に対して、多角的なデータと視点を駆使して深く掘り下げた作品です。公的財源・医療現場の逼迫・制度設計の是非など、複数の立場を丁寧に扱っており、主張とバランスが見事に両立しています。図やグラフの質も高く、視覚的な説得力にも優れています。結論部分の構成にやや詰め込み感があるため、要点の整理でさらに読みやすくなります。特選、日本統計学会会長賞受賞、おめでとうございます。

中学生の作品

0.01秒の壁に挑む 〜桐生祥秀選手から見る100m走の速さの秘訣〜

用語
 ○ピッチ(歩幅) 1歩あたりの歩数
 ○ストライド(歩幅) 1歩ごとの歩幅
 ○歩長比 歩幅の長さを歩幅で割った値

動機
 私は身長190cmで日本人男子の平均である170cmほど短くは無いが、速く走りたいという思いが強く、高校で100m走の練習を始め、桐生祥秀選手から見る100m走の速さの秘訣を知りたいという思いが強く、この研究を始めた。

①ピッチとストライド、どちらが重要？

＜ピッチとタイムの関係＞

正の相関がある
ピッチが長いほどタイムは速くなる

相関が強い方が、より「タイムの速さ」に貢献していると考えられるが、...
 3つのグラフの「相関係数の値」は「絶対値」が大きいほど、どちらのより重要かは判別できない。

＜ストライドとタイムの関係＞

正の相関がある
ストライドが長いほどタイムは速くなる

＜ピッチとストライドの関係＞

負の相関がある
ピッチが長いほどストライドは短くなる
ストライドが長いほどピッチは短くなる
ピッチを長くしてストライドを大きくする、
歩幅「増幅」が、両方に良いこと...
ピッチとストライドのバランスが大切

②相性選手のピッチとストライドの「バランス」とは？

＜体別比較①＞

＜体別歩長比比較①＞

＜年別比較①＞

＜年別歩長比比較①＞

③強い風と向かい風で全く違う！?

＜家康とタイムの関係＞

相関係数: 0.75 (強い正の相関)
 相関係数: 0.75 (強い正の相関)
 相関係数: 0.75 (強い正の相関)

④ウサイン・ボルト 一体何者!?

＜100mの速さの変化＞

＜ピッチとタイムの関係＞

＜ストライドとタイムの関係＞

＜ピッチとストライドの関係＞

＜速さの低下率が大きい＞

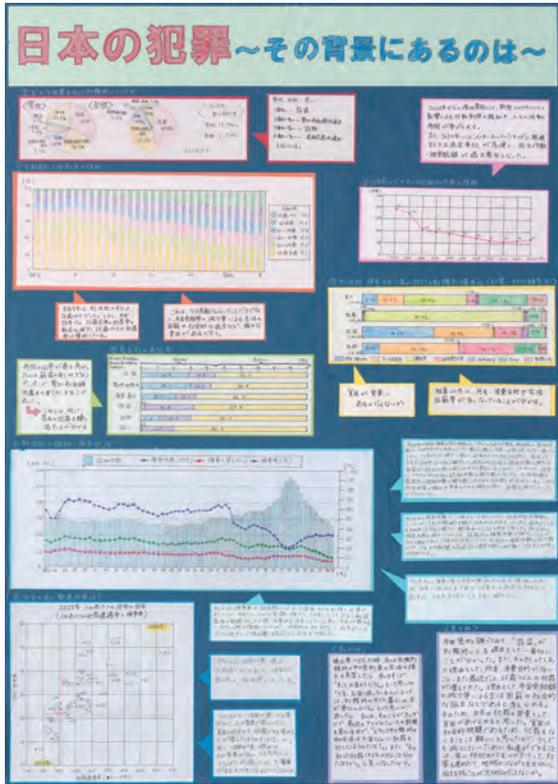
考察
 本論文は、桐生祥秀選手から見る100m走の速さの秘訣について、科学的要因をピッチやストライド、風などの切り口から分析した探究力を評価します。フィルターをかけた散布図や風速との関係分析など、仮説と検証の流れが論理的に整理されており、読み手に明確な示唆を与えています。データの出典や測定方法が記されていれば、さらに説得力が高まります。興味の引きつけ方と分析の深さが光る一作です。入選一席、おめでとうございます。



埼玉県佐藤栄学園栄東中学校
3年 石井 友和子

トップアスリートの走りを題材に、「速さ」の科学的要因をピッチやストライド、風などの切り口から分析した探究力を評価します。フィルターをかけた散布図や風速との関係分析など、仮説と検証の流れが論理的に整理されており、読み手に明確な示唆を与えています。データの出典や測定方法が記されていれば、さらに説得力が高まります。興味の引きつけ方と分析の深さが光る一作です。入選一席、おめでとうございます。

◎入選



北海道北海道教育大学附属札幌中学校
2年 山口 梨依菜

一見「減っている」と思われがちな日本の犯罪について、背景の社会的要因に目を向けた視点が秀逸です。就労・家庭環境・貧困といった構造的課題と犯罪率を関連づけ、統計資料を丁寧に読み解いています。各グラフの使い方も的確で、メッセージ性が高い作品です。一部、テキストの密度が高く読みにくい箇所があるため、見せ方の工夫でさらに完成度が高まります。入選、おめでとうございます。

中学生の作品

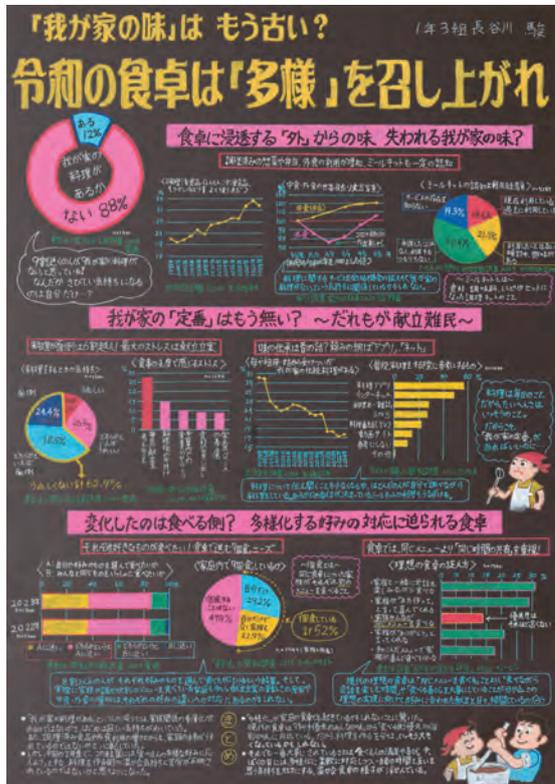


埼玉県さいたま市立大宮国際中等教育学校
3年 有 隅 梨 紗

身近なテーマを、全国の課題として広げて捉えた発想が素晴らしいです。アンケート・事故統計・設置費用など、広範な情報をまとめ、説得力ある主張につなげています。特に「歩道と車道のあいだの空白を埋める施策」としての捉え方は、問題の本質に迫る着眼点です。熱量の高さと実用性のある提言が印象に残る力作でした。入選、おめでとうございます。

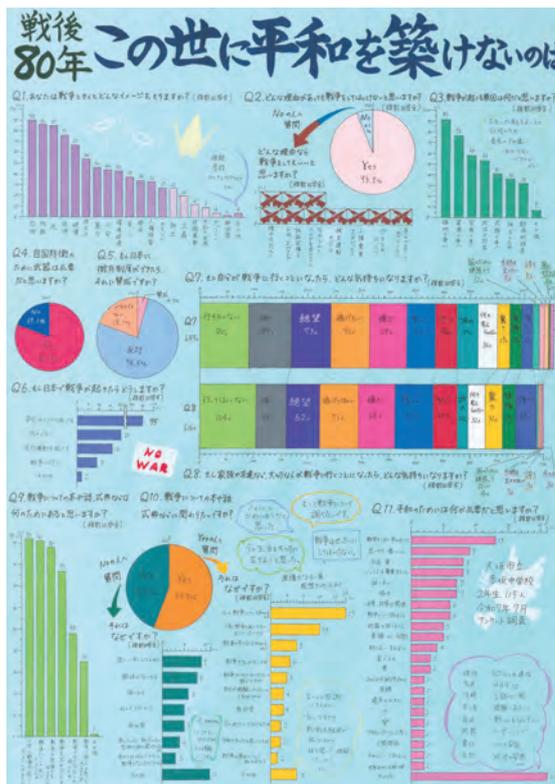
富山県射水市立小杉南中学校
1年 長谷川 駿

家庭料理の変化という身近なテーマに、「多様性」や「外食文化の浸透」といった社会的視点を取り入れたユニークな構成が魅力です。グラフや色づかいも工夫されており、読み手を引きつける力があります。問いの立て方も巧みで、「食卓の個別化」が進む背景や課題をわかりやすく表現しています。情報が豊富なぶん、主張がやや散漫に見える部分の整理が今後の課題です。入選、おめでとうございます。



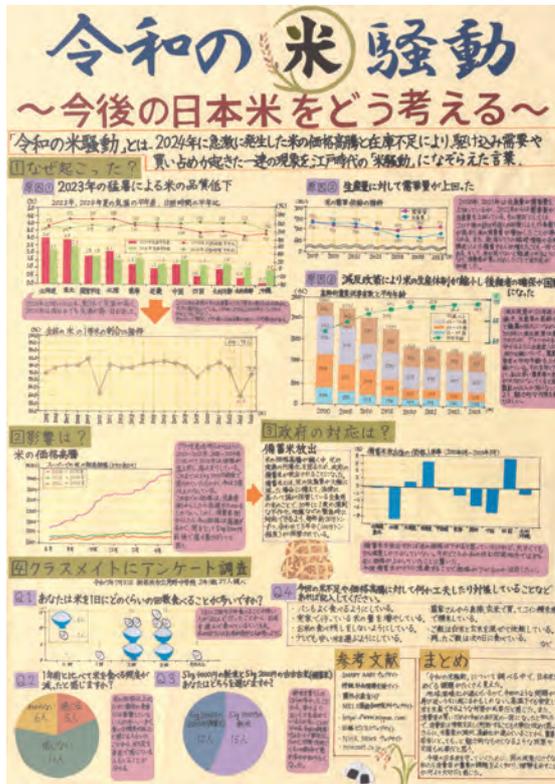
岐阜県大垣市立赤坂中学校
2年 水野 由 弥

戦争と平和について、中学生ならではの素朴な疑問を起点に、問いを丁寧に掘り下げた調査です。17項目にわたる多角的な設問と、それに対応する多様なグラフからは、テーマへの誠実な向き合いが伝わってきます。特に「平和を守るために必要なこと」の自由記述は、回答のバリエーションが豊かで、世代の声をすくいあげる構成になっています。複数の円グラフや帯グラフに出典の明記不足があり改善を要します。入選、おめでとうございます。



愛媛県新居浜市立角野中学校
2年 渡邊 咲来

「米騒動」を現代的な視点で再構成し、物価高騰と供給不足という複合的な問題に切り込んだ意欲作です。時系列データをもとに、気候・生産・備蓄政策・価格推移などを多角的に分析し、クラスでのアンケート調査も取り入れることで、社会問題と自分たちの生活をつなげる姿勢がよく表れています。特に「まとめ」の部分における視点が深く、単なる問題提起にとどまらず、未来に向けての提言にまで踏み込んでいる点が高く評価できます。入選、おめでとうございます！



佐賀県佐賀大学教育学部附属中学校
2年 長田 明香里

命のリレーである「臓器移植」をテーマに、普段見えにくいその実態を「提供件数」「移植希望者数」「脳死判定数」など、多くの具体的なデータを紹介しながら、浮き彫りにしています。調査のきっかけや個人的な思いも明記されており、テーマとの距離感が近く、説得力があります。5年生存率や提供可能な臓器の部位など、専門的情報もわかりやすく図解されています。難しい社会課題をわかりやすく、温かく伝える力が光っています。入選、おめでとうございます！



佳作 第4部

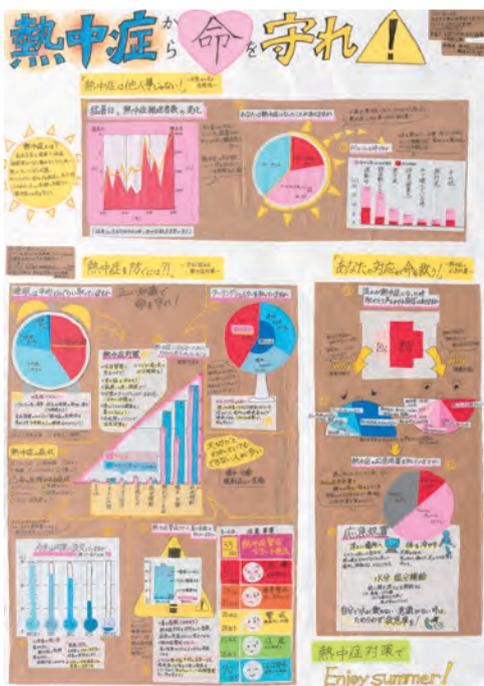
◎佳作



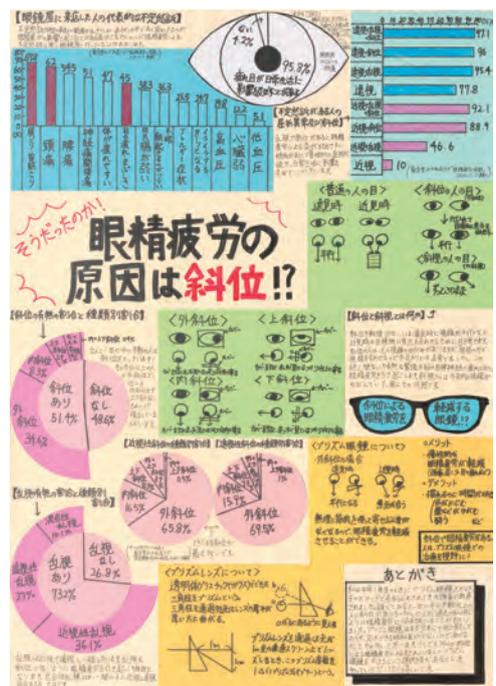
青森県弘前大学教育学部附属中学校
3年 竹内 翠依・日ヶ久保 乃愛



岩手県岩手大学教育学部附属中学校
3年 大橋 明依

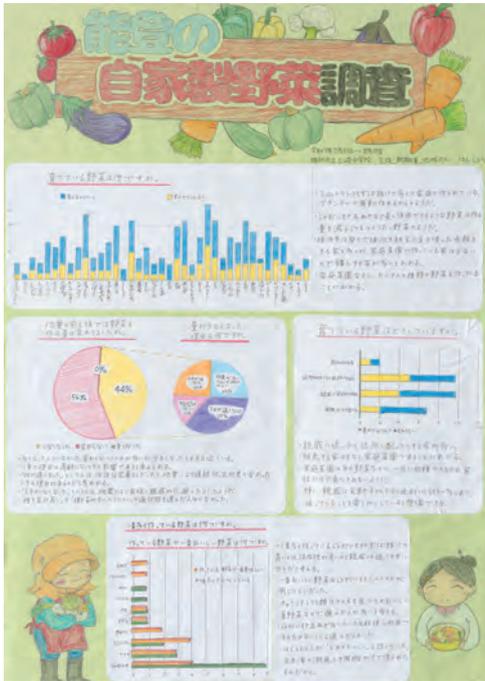


山形県米沢市立第四中学校
1年 房間 円花

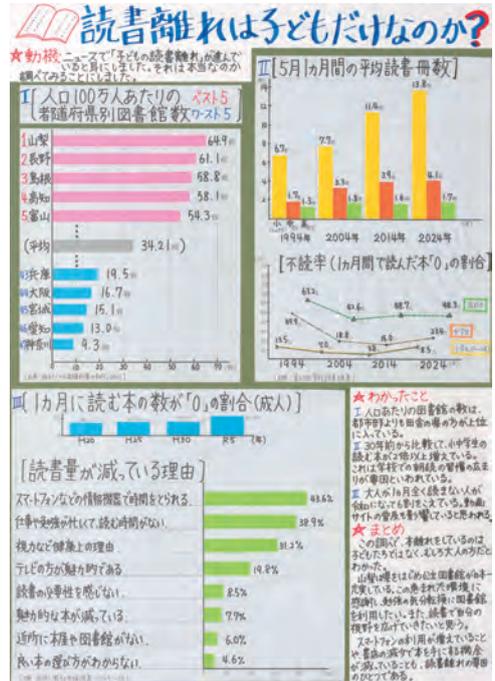


山形県山形県立東桜学館中学校
3年 松田 蓮音

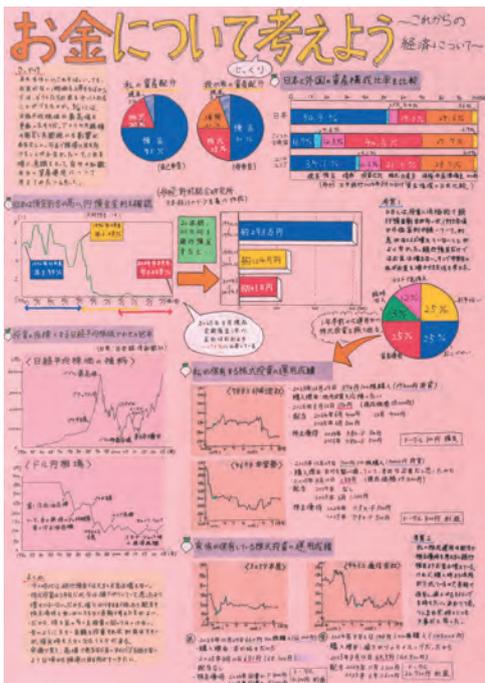
中学生の作品



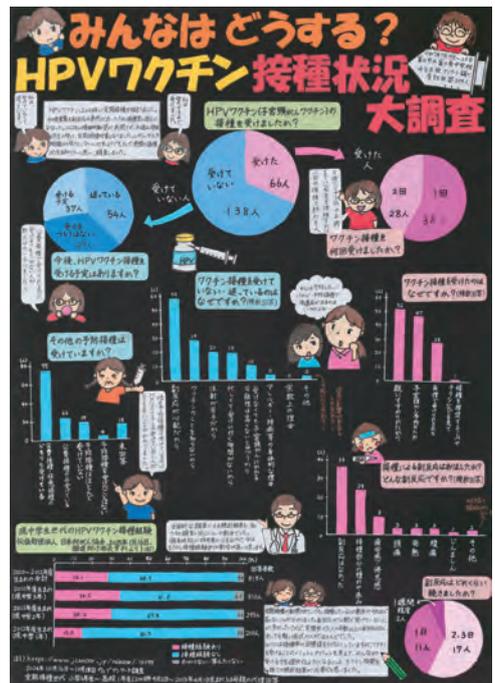
石川県珠洲市立三崎中学校
2年 河原 愛 瑠・権 元 紗 唯 妃
谷 内 尊



山梨県駿台甲府中学校
1年 小 野 茉 里 奈

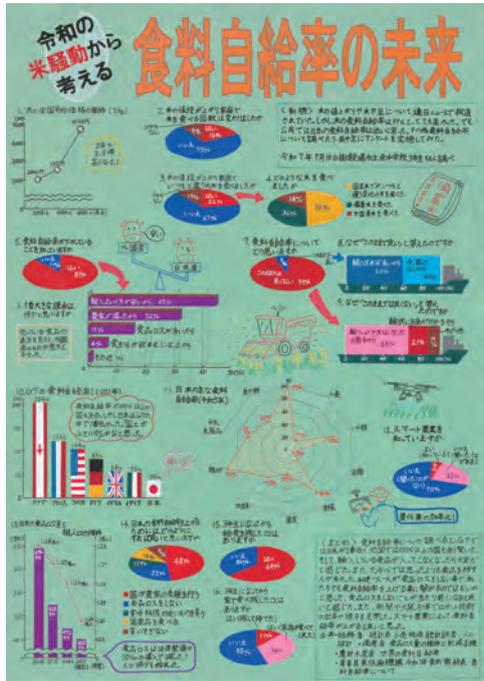


岐阜県大垣市立西部中学校
1年 傍 島 舞 香



静岡県富士市立富士南中学校
3年 鈴 木 七 海・前 島 実 莉 子

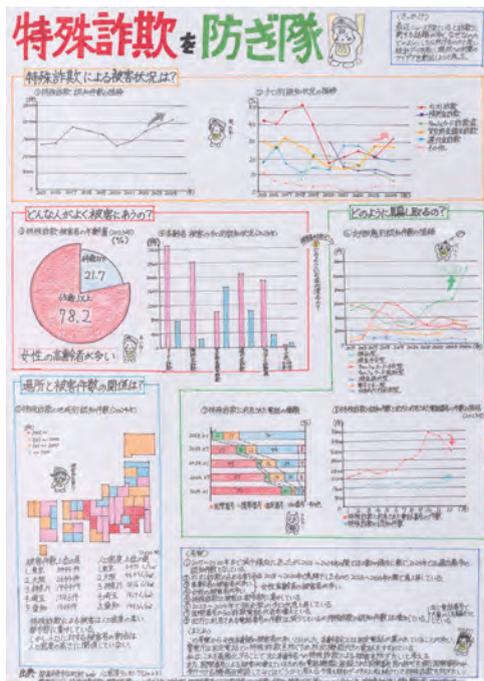
中学生の作品



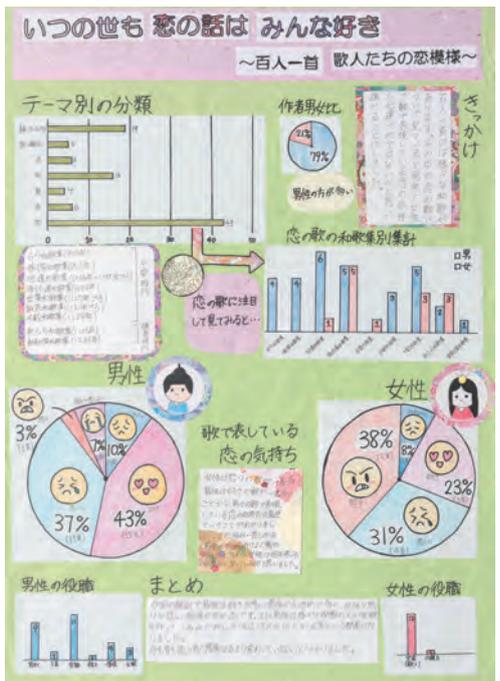
静岡県御殿場市立南中学校
3年 谷口 瑞季



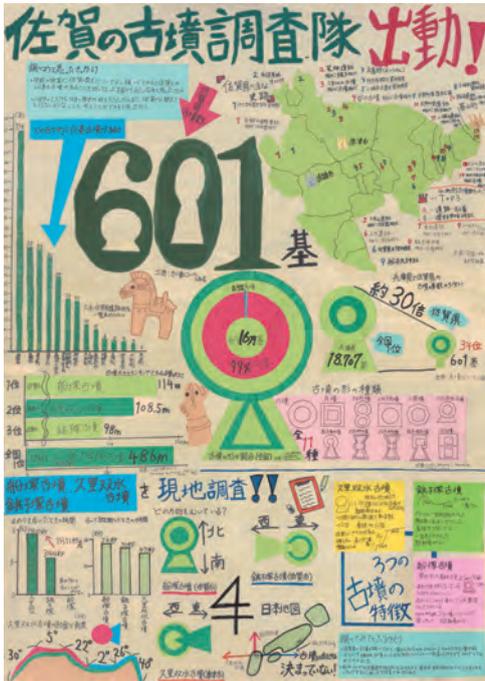
愛知県岡崎市立竜海中学校
1年 判治 里紗



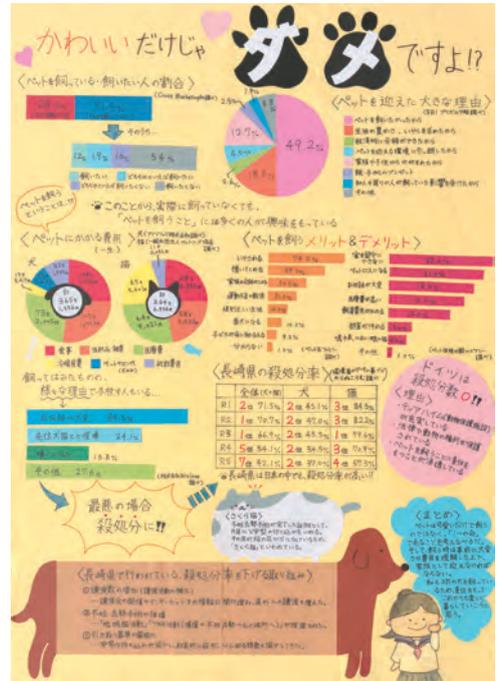
広島県広島大学附属東雲中学校
2年 西本 充希



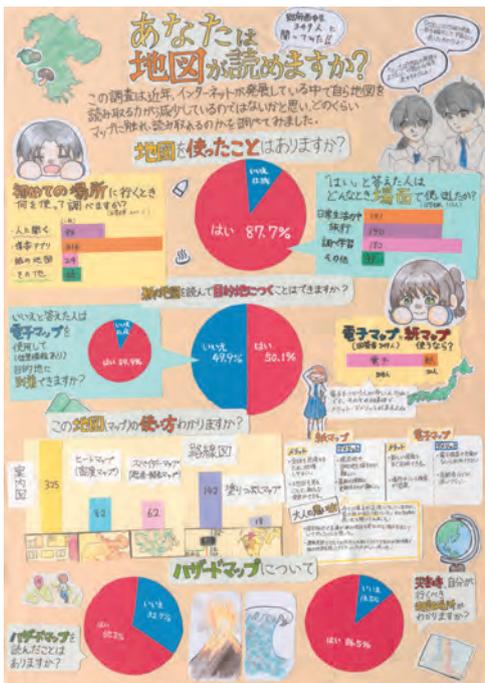
山口県山口市立鴻南中学校
3年 原川 灯里



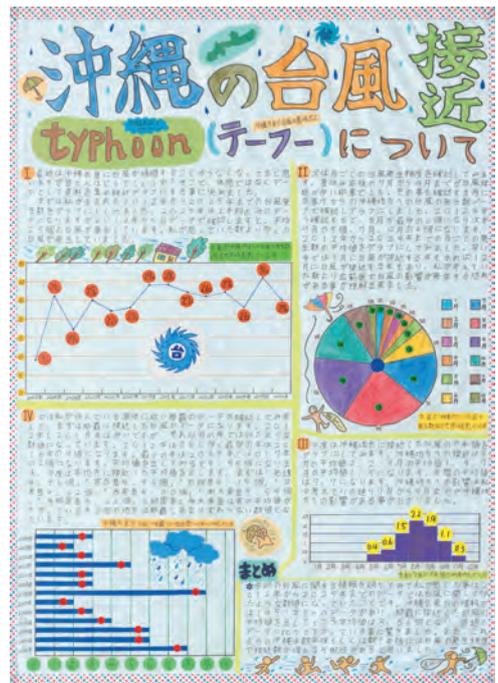
佐賀県佐賀県立武雄青陵中学校
1年 鷹 巢 董



長崎県長崎大学教育学部附属中学校
1年 木下 聖 渚



大分県別府市立別府西中学校
3年 衛 藤 真 央・大 野 琳 加
2年 杉 山 希 菜



沖縄県浦添市立浦添中学校
1年 前 田 渾 玖

第 5 部

小中学生のパソコン統計グラフの作品

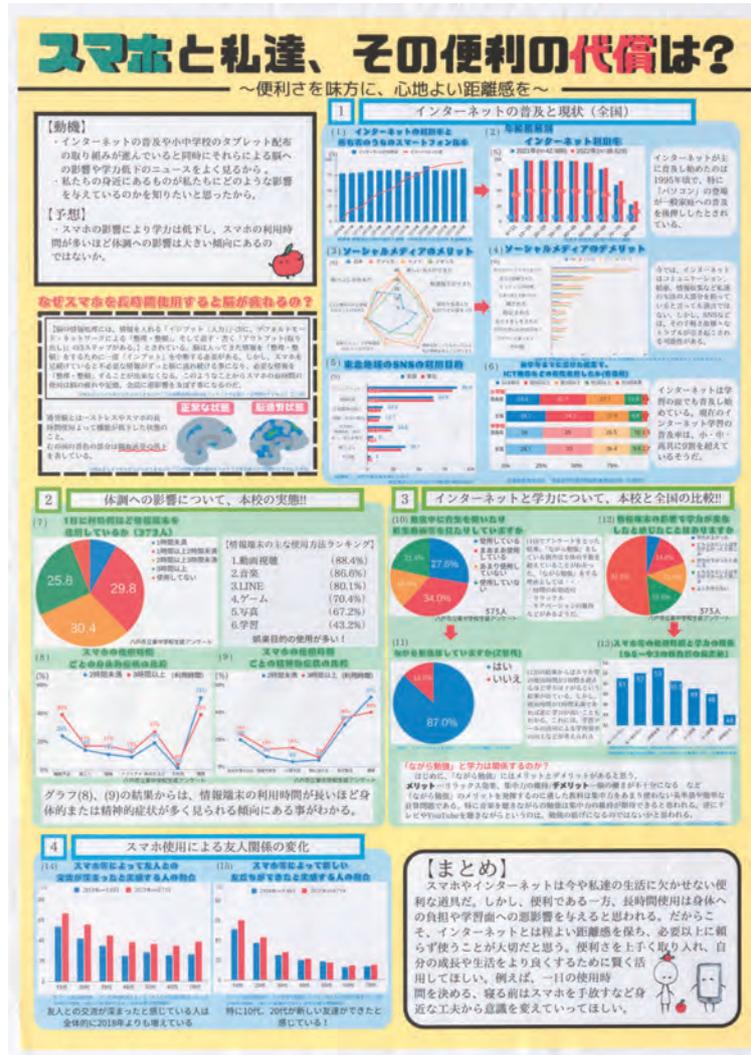
— 概 要 —

この部門では、パソコンによるデジタル作成という利点を生かし、グラフや図表を効果的に活用した作品が数多く見られました。内容面では、生成 AI や SNS、スマートフォン、防災、国際比較、投票率、野生動物、地域魅力度など、多様な社会課題に対して、統計データをもとに分析・考察を行おうとする意欲的な姿勢が印象的です。単に「気になることを調べた」で終わるのではなく、仮説を立て、それを検証しようとする探究の構えが随所に表れており、データに基づいて考える力の育成が進んでいることがうかがえます。

また、多くの作品で全国統計と自校アンケートや地域データを比較するなど、自分たちとの関係性を意識した視点も評価できます。分析結果を社会全体や将来の課題と結び付ける力も育っており、「考えただけ」ではなく「次の行動へつなげよう」とする提案や呼びかけが含まれていた点も印象的でした。

情報技術の活用という点では、グラフ作成や図の配置、色分けなど、視覚的にわかりやすく伝える工夫が光っており、ICT リテラシーの定着を感じさせます。中には、生成 AI やデジタルデバイス自体をテーマとして扱い、利用傾向や影響を統計で読み解こうとする作品もあり、まさに現代的なテーマと手法が融合した学びの好例といえるでしょう。

今後はさらに、出典や調査時期の明記といった「統計的な情報の扱い方」への意識を高めることで、より信頼性の高い発表へとつながることが期待されます。どの作品も社会を見るまなざしに満ちており、今後のさらなる探究の深化が楽しみです。来年の応募作品にも期待しています。



青森県八戸市立東中学校
3年 戸崎 遼央里

スマートフォンという日常的な題材を、学習・健康・人間関係といった複数の観点から整理し、統計データを用いて丁寧に検証している点が印象的です。全国データと自校アンケートを比較する構成により、「自分たちの実態」を客観的に捉えようとする姿勢が伝わってきます。利用時間と身体・学習への影響をグラフで示した分析は、問題提起としても分かりやすく、多くの読み手に考えるきっかけを与えます。今後は、データの出典や調査時期をより明確にすると、分析の説得力がさらに高まるでしょう。入選一席、おめでとうございます！

入選

群馬県の魅力UP! ～群馬の魅力再発見プロジェクト～

以前、魅力度ランキングで群馬県が40位以下という年が続いているという点に対して驚きました。交通アクセスや健康・医療・福祉などさまざまな面で比較をすることで、魅力度が高いとされている県に見られる特徴を分析し、魅力度向上へとつなげたいと思いました。

予想① 交通アクセス
予想② 生活費
予想③ 人口
予想④ 観光

まとも

群馬県群馬大学共同教育学部附属中学校 3年 清水 文瑠

地域の魅力度という抽象的なテーマを、交通アクセス・生活費・人口・観光といった具体的な指標に分解し、データで検証している点が非常に優れています。仮説を立て、それを散佈図などで確かめていく構成は、探究的な学びの好例です。特に「下位県との比較」や「仮説が必ずしも支持されなかった点」を考察している姿勢は評価できます。データの出典も比較的明示されており、信頼性の高い分析となっています。統計を使って地域を見る力がよく育っている作品です。入選、おめでとうございます!

小中学生のパソコン統計ツリーフの作品

自助と共助で身を守る 令和のご近所付き合い事情

自助・共助で自身を守ることは、地域・社会で暮らす上で大切なこと。自助・共助で自身を守ることは、地域・社会で暮らす上で大切なこと。

1. ご近所付き合いに関する行動の実態
2. 異世代ご近所付き合いの傾向
3. ご近所付き合いに対する意識調査
4. 阪神・淡路大震災からの教訓

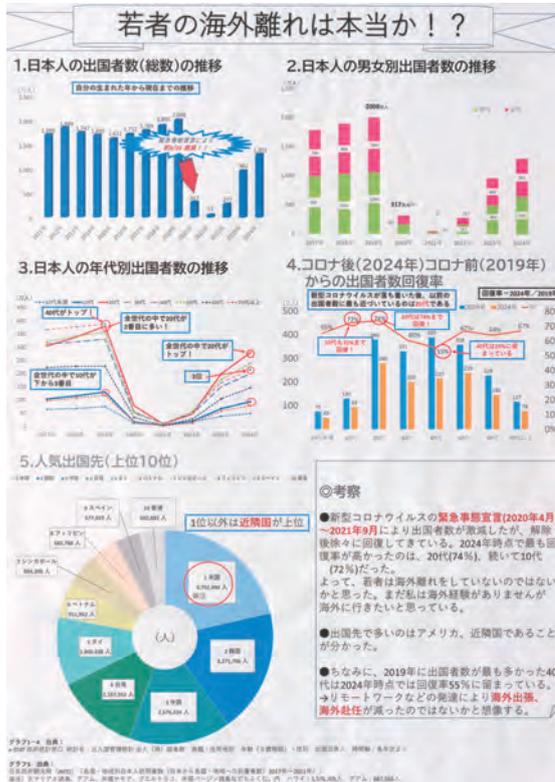
5. まとめ

埼玉県さいたま市立大宮国際中等教育学校 3年 柴田 奈緒

防災という重要なテーマを「ご近所付き合い」という身近な切り口から捉え、行動実態・意識・年代差を丁寧に分析しています。円グラフや帯グラフを効果的に使い分け、結果が直感的に理解できる構成になっています。阪神・淡路大震災のデータを取り入れ、過去の教訓と現在の課題を結びつけて考察している点も高く評価できます。一部の統計については出典が簡略的なため、今後は資料名や調査主体を明記すると、さらに完成度が高まるでしょう。入選、おめでとうございます!

東京都大妻中野中学校
3年 石渡 結衣

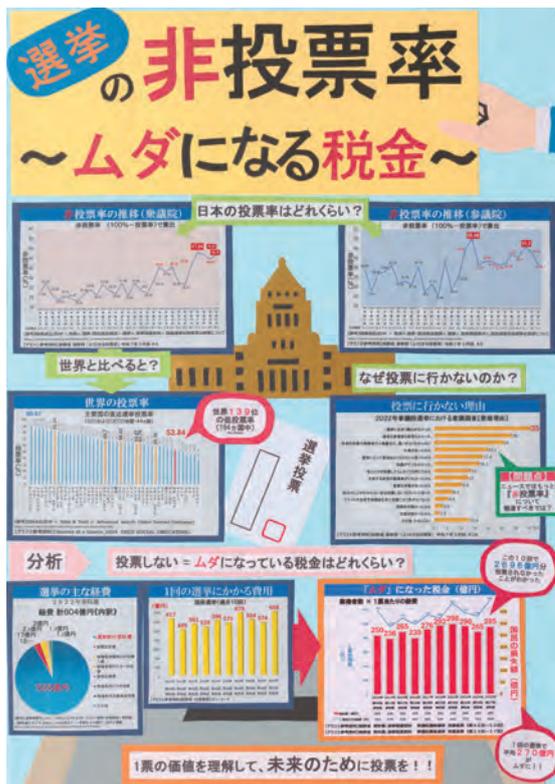
「若者は海外に行かなくなったのか」という社会的な問いに対し、出国者数を年代別・男女別・回復率など複数の視点から検証している点が秀逸です。コロナ前後の比較や、回復率に注目した分析は論理的で、グラフの読み取りも的確です。「海外離れではなく、状況変化による一時的減少ではないか」という考察は、データに基づいた冷静な判断として評価できます。出典も明記されており、統計の扱い方が適切です。問いとデータがしっかり結びついた完成度の高い作品です。入選、おめでとうございます！

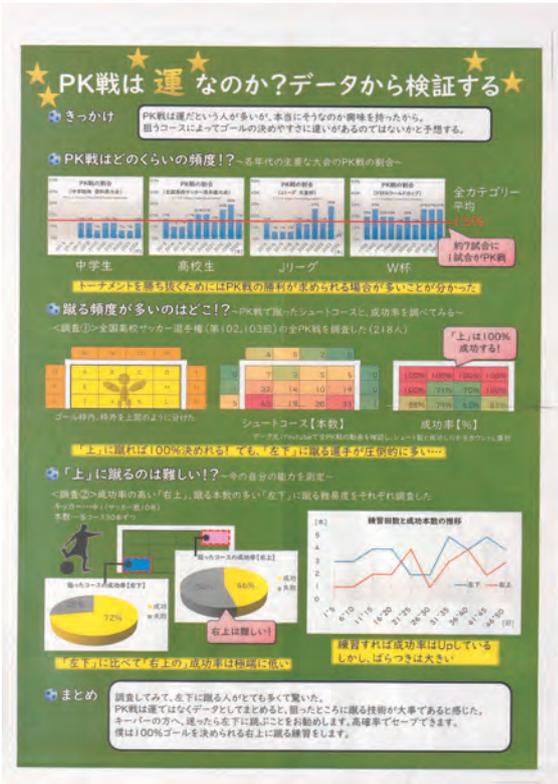


小中学生のパンフレット統計グラフの作品

神奈川県慶應義塾湘南藤沢中部
2年 渡辺 吏翔

日本の投票率の低さという課題に対し、「非投票率」という視点で整理し、さらにそれを「ムダになった税金額」に換算して示した着眼点が非常に独創的です。衆議院・参議院それぞれの非投票率の推移や、世界との比較を通して、日本の状況を客観的に位置づけている点も評価できます。具体的な金額に換算した分析は、統計データを社会問題と結びつける良い実践例です。データから政治参加の意味を問い直す、説得力のある作品です。入選、おめでとうございます！

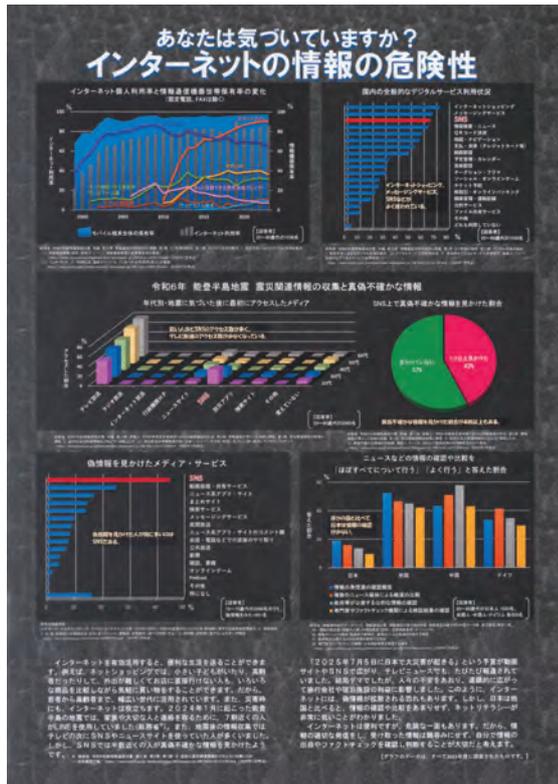




愛知県愛知県立刈谷高等学校附属中学校
1年 内田 敦也

PK戦を「運」と捉える通念に対し、実際のデータからそのイメージを検証した作品です。出場大会ごとのPK戦頻度、シュートコース別の成功率、キック方向の傾向など、多面的な視点から丁寧に調べられており、主観に流されない冷静な分析が印象的です。「上に蹴れば成功率が高いが蹴る人は少ない」という結論には、技術的な困難さまで踏み込んだ考察があり、説得力があります。図表の構成もわかりやすく、統計の力でイメージを問い直す姿勢が素晴らしい作品です。入選、おめでとうございます！

小中学生のパソコン統計ツラフの作品



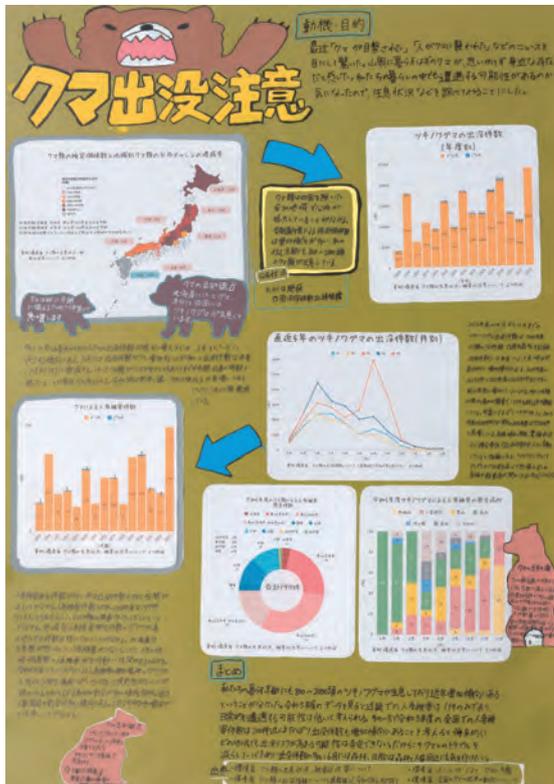
三重県津市立久居東中学校
3年 林 心陽・塚 本 晶大
松田 蓮・大西 陸斗
藤田 真也

SNS時代の情報の信頼性に警鐘を鳴らす、社会的関心の高いテーマです。震災時の偽情報の拡散や、情報を得る手段の変化を、多数のデータとともに丁寧に整理しており、説得力があります。偽情報を信じた人の割合や、年代別のメディア利用傾向など、グラフから読み取れるポイントも明確です。複雑なデータを扱いながらも全体としてよく整理されており、構成力も優れた作品です。入選、おめでとうございます！

京都府京都教育大学附属京小中学校 7年 森田 彩月

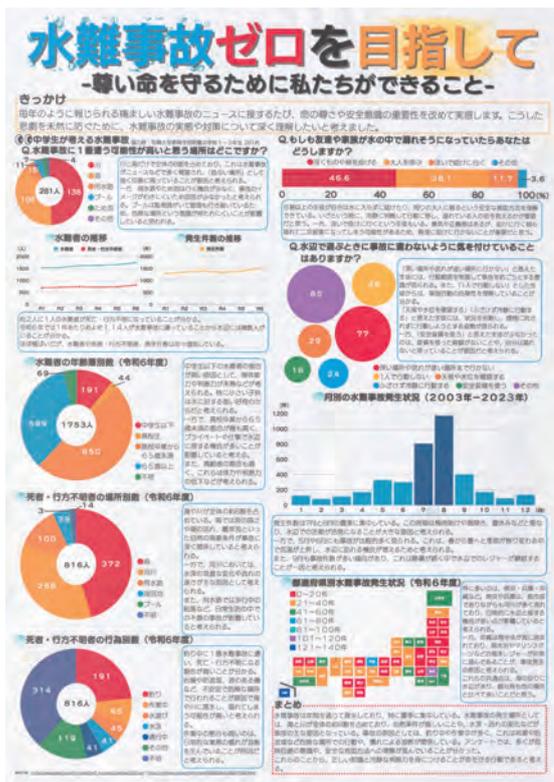
全国で話題となっているクマの出没問題に対し、社会的関心を起点に、出没件数の推移や地域差、被害の内訳、季節変動、背景要因まで多角的に掘り下げた力作です。地図・棒グラフ・円グラフ・折れ線グラフと多様な図表を駆使して情報を整理し、全体構成も読みやすく、視覚的にも非常に工夫が凝らされ、単なる件数の羅列にとどまらず、傾向をとらえる力が育まれている点が評価されます。入選、おめでとうございます！

小中学生のパソコン統計グラフの作品



佐賀県佐賀大学教育学部附属中学校 3年 陣内 心有

毎年発生する水難事故の防止をテーマに、年齢別・場所別・季節別の事故状況を丁寧に分析した作品です。事故の発生場所や原因に関する細かい分類がなされており、どのような人が、どこで、なぜ事故に遭うのかを明らかにしようとする姿勢が評価できます。さらに、事故を防ぐためにできることについてアンケート調査も取り入れ、自分たちの行動につながる姿勢が高く評価できます。データをまとめて視覚的ではなく、行動につながる視点が活きた、説得力のある問題提起型の作品です。入選、おめでとうございます！



ラジオ、聴いてる？ ～放送開始100年の現状～

ラジオの歴史は、電波の伝達手段としての無線電波の発明から始まります。その後、録音技術の進歩により、録音された音声を再生して聴くという形式が主流となり、ラジオは私たちの生活に欠かせないメディアの一つとして定着しました。

1. ラジオってなに？

ラジオとは、電波を利用して音声を遠くまで伝えることができる通信手段です。放送局から送信された電波を受信機で受信し、スピーカーから音声を再生します。

2. 現状・聴取者は年々減少+高齢化？！

聴取者数は年々減少傾向にあり、高齢化が進んでいます。これは、インターネットやスマートフォンなどの新しいメディアの普及による影響が大きいと考えられます。

3. なぜ若年層の聴取者が減少？

インターネットが普及したことで、音声を聴くための選択肢が増え、ラジオの聴取者が減少しています。また、若年層は視覚的なメディア（動画や画像）を好む傾向があります。

4. ラジオも新時代へ突入！

ポッドキャストやインターネットラジオなどの新しいサービスが登場し、ラジオは新しい時代へと突入しています。これにより、若年層にもラジオの聴取者が増加する可能性があります。

現代のニーズに合っている！！

栃木県小山市立小山第三中学校
3年 台 坂 駿

メディアの使用時間の変化

メディアとは情報を手続したり記録したりするために使われる手段や媒体のことです。近年未成年のメディア（インターネット）の依存症（特にスマホ依存）が問題になっています。

1. 生活へのどのくらい浸透している？

メディアの浸透率は非常に高く、ほとんどの人が日常的に利用しています。特にスマートフォンは、若年層を中心に普及しています。

2. 利用時間は？

利用時間は年々増加傾向にあり、特に若年層の利用時間が長くなっています。これは、インターネットやスマートフォンなどの新しいメディアの普及による影響が大きいと考えられます。

平均的利用時間は毎日10時間以上あり、1日は2000分を超えている。特に、若年層ではスマホ依存が問題になっている。

参照：令和5年度情報通信メディアの利用時間と情報行動に関する調査報告書（令和5年度情報通信政策研究所）

栃木県小山市立間々田中学校
2年 白 水 雅 集

衣類の大量廃棄、大量消費、大量生産の原因を探る!!

衣類の大量生産と1枚の洋服の価格の低下、低いリサイクル率とリユース率、大量生産の原因を探る。

衣類の大量生産と1枚の洋服の価格の低下！

衣類の生産量は年々増加傾向にあり、1枚の洋服の価格も低下しています。これは、大量生産によるコスト削減による影響が大きいと考えられます。

低いリサイクル率とリユース率

衣類のリサイクル率は非常に低く、多くの衣類が廃棄されています。これは、消費者の意識やリサイクル技術の不足による影響が大きいと考えられます。

大量生産の原因①

大量生産の原因の一つは、消費者の需要の増加によるものです。特に、若年層の消費意識の高まりが影響しています。

大量生産の原因②

大量生産の原因の二つ目は、生産技術の進歩によるものです。自動化された生産ラインにより、生産効率が大幅に向上しています。

まとめ

衣類の大量生産と大量消費、大量生産の原因を探る。消費者の意識の向上やリサイクル技術の進歩による影響が大きいと考えられます。

神奈川県慶應義塾湘南藤沢中等部
1年 樹 見 彩 花

塩分摂取量を減らそう

日本人は塩分を取り過ぎている。塩分摂取量を減らすための方法を探る。

日本人は塩分を取り過ぎている

日本人の塩分摂取量は、WHOの推奨値を大きく超えています。これは、高血圧や心臓病などの健康問題を引き起こす原因の一つです。

塩分摂取量を減らすための方法

塩分摂取量を減らすためには、食生活の見直しが必要です。具体的には、塩辛い食品の摂取量を減らし、野菜や果物の摂取量を増やすことが効果的です。

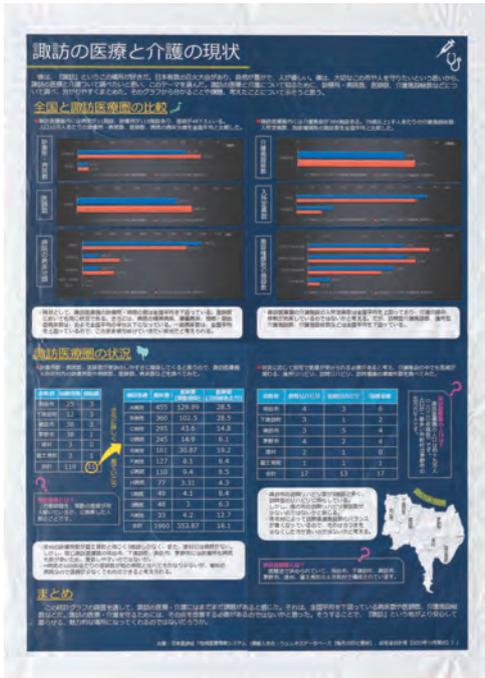
塩分摂取量と健康の関係

塩分摂取量が増えると、血圧が上昇し、心臓病や脳卒中のリスクが高まります。したがって、塩分摂取量を減らすことは、健康を守るために非常に重要です。

まとめ

日本人は塩分を取り過ぎている。塩分摂取量を減らすためには、食生活の見直しが必要です。健康を守るために、塩分摂取量を減らすことを心がけましょう。

山梨県駿台甲府中学校
1年 渥 美 あ い

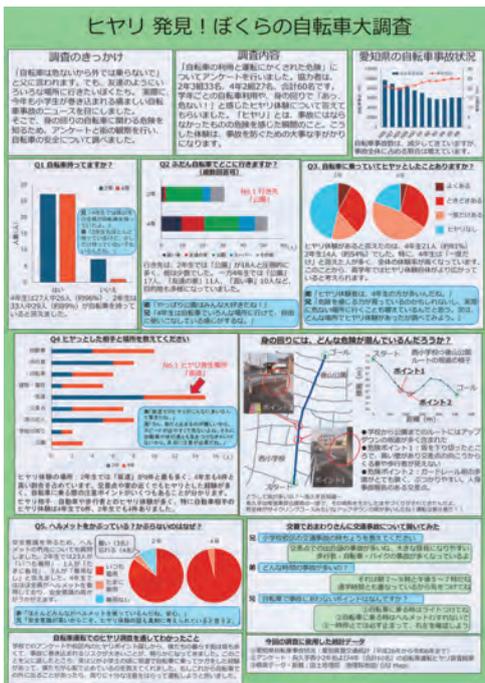


長野県長野野諏訪清陵高等学校附属中学校
1年 宮坂 聡一



静岡県長泉町立長泉中学校
3年 渡邊 佑基

小中学生のパソコン統計ツリーフの作品



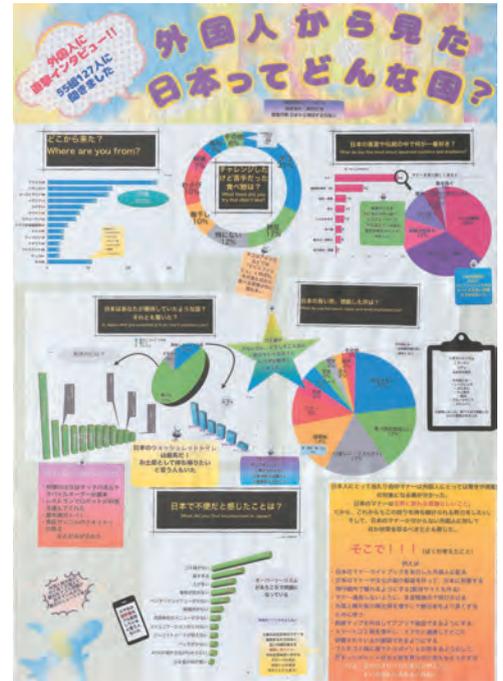
愛知県長久手市立西小学校
4年 田中 遥馬
2年 田中 翔馬



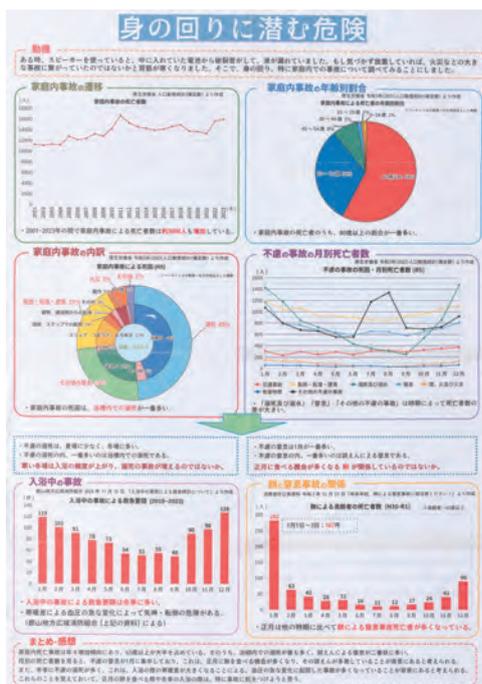
滋賀県滋賀大学教育学部附属中学校
2年 中川 真輝



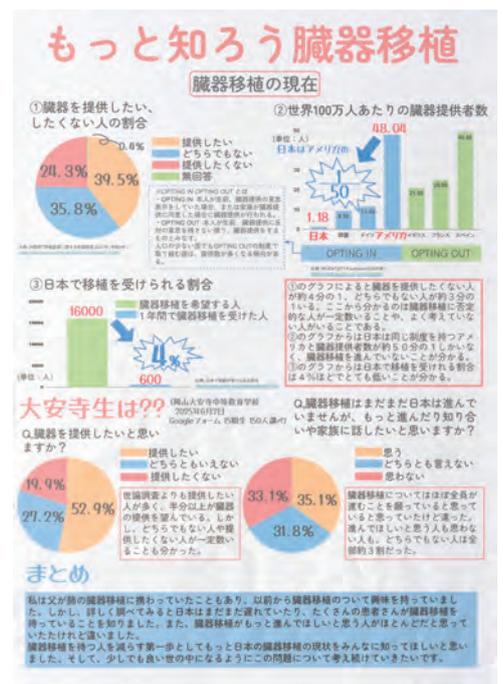
滋賀県立命館中学校
3年 鹿谷 俊介



大阪府熊取町立南小学校
6年 井黒 想来



和歌山県和歌山県立向陽中学校
3年 林 尚親



岡山県岡山県立岡山大安寺中等教育学校
2年 黒崎 志帆

小中学生のパンフレット統計グラフィックの作品

第 6 部

高校生以上の作品（手描き・パソコン利用不問）

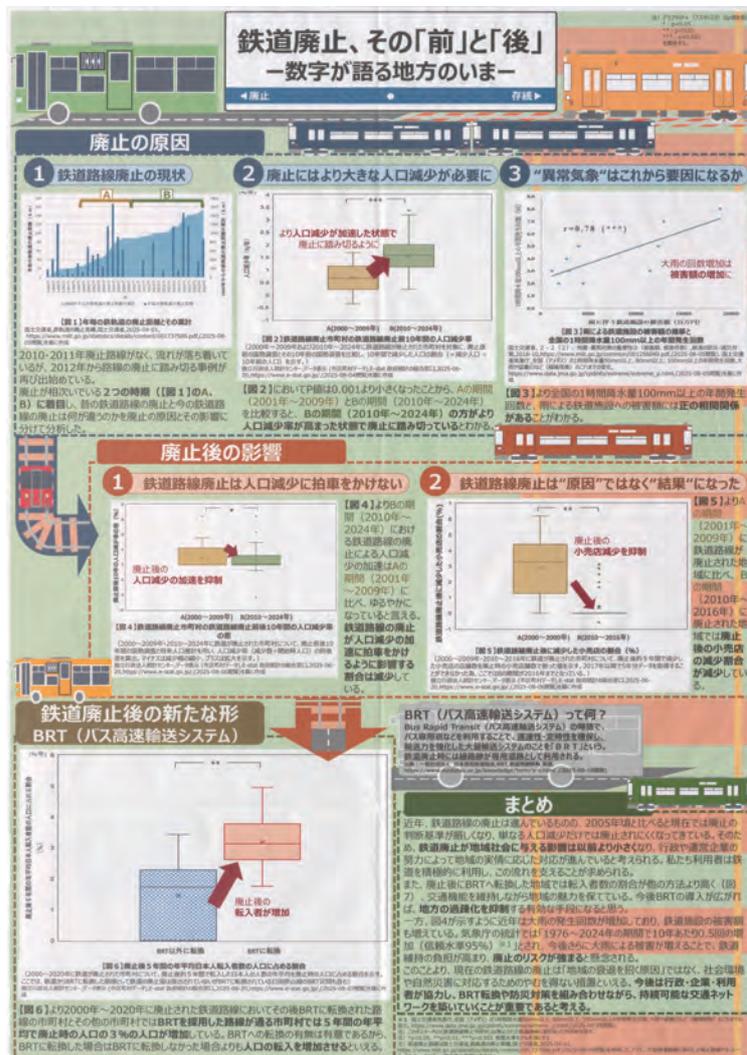
— 概 要 —

この部門では、高校生から大学生・高等専門学校生、さらに成人や親子による共同研究まで、幅広い年代層の作品が集まりました。とくに、高校生の探究作品が数多く入選しており、近年、学校教育の中で重点化が進んでいる探究学習やデータサイエンス教育の学習成果が表れていることを感じます。

いずれの年代においても、社会課題への鋭い視点と統計的手法を駆使した実証的アプローチが光る作品が多く寄せられました。教育や医療、ジェンダー、環境、地域社会など、多様なテーマを深く掘り下げ、客観的データに基づいて自らの考察を展開する姿勢が全体に見られ、さらに、制度や国際比較を扱った作品では、主観的な意見に偏ることなく、複数の信頼性ある資料をもとに丁寧に論点が整理されており、データに基づいて自らの立場を構築する姿勢が印象的でした。

また、アンケートや意識調査の結果と公的統計とを突き合わせて考察する試みや、親子で取り組んだ現地観察・継続的記録に基づく研究、地域の課題を取り上げた成人の実践的探究など、それぞれの立場から問題を深く掘り下げ、統計による可視化や提案へとつなげる構成は、探究として非常に意義のあるものでした。

統計グラフを作成する際には、グラフの軸設定やデータ数に工夫が必要になりますが、それらも含めて、自ら問いを立て、調べ、考えるという過程に価値があり、今後のさらなる成長が期待されます。全体として、本年度の第6部の作品群は、身近な問いや社会課題から出発し、統計という道具を使って世界と対話する、探究の原点を体現するものでした。来年もまた、多様な視点と方法を活かした意欲的な応募を心より期待しています。



高校生以上の作品（手書き・パソコン利用可）



愛知県名古屋大学教育学部附属高等学校
1年 山川 岳 大

鉄道廃止という社会課題を「結果」として捉え、廃止前後の人口変動や異常気象との関連などを、統計データとボックスプロットを駆使して冷静に分析した点が際立ちます。「廃止が原因ではなく、人口減少の帰結である」といった視点は、因果の読み違いを防ぐデータリテラシー教育の好例といえるでしょう。また、BRT（バス高速輸送システム）への移行事例を取り上げた点も、単なる問題提起にとどまらず、解決策の模索にまで視野を広げており評価に値します。データの出典が明確で、グラフも丁寧に整理されており、探究的な思考と実証的アプローチのバランスが取れた優れた作品です。入選一席、おめでとうございます！

長野県長野県屋代高等学校
1年 児玉 悠 真

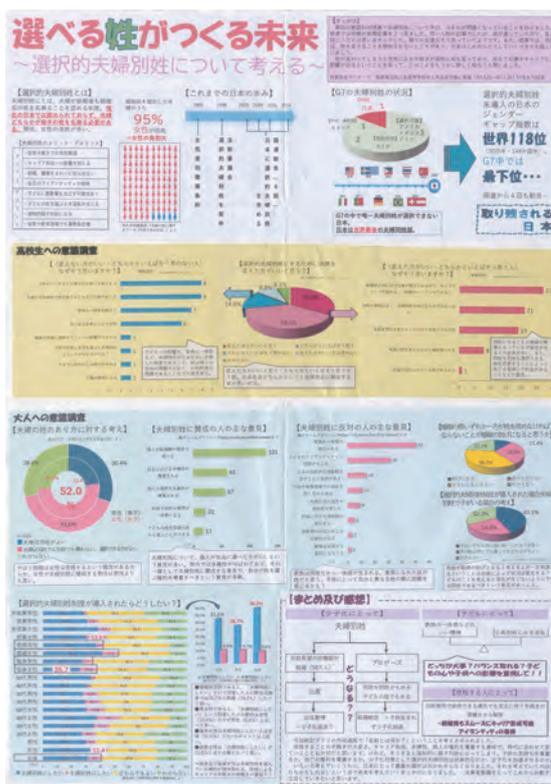
県内4地点の雨水を採取し、pH・電気伝導率・硝酸塩・硫酸塩の濃度を比較した探究です。地域による違いを明確に示し、地理的要因との関係や生活環境の影響にも言及した考察は説得力があります。電気伝導率とpHの関係は、データ点5つで傾向も見られますが、グラフのメモリ設定により相関が視覚的に弱まっているのは惜しい点です。一方、硝酸塩と硫酸塩の相関を示す散布図はデータ点が3つしかなく、相関を論じるには説得力に欠けます。データ数や軸設定といった可視化の工夫が加わると、さらに完成度が高まるでしょう。入選、おめでとうございます！

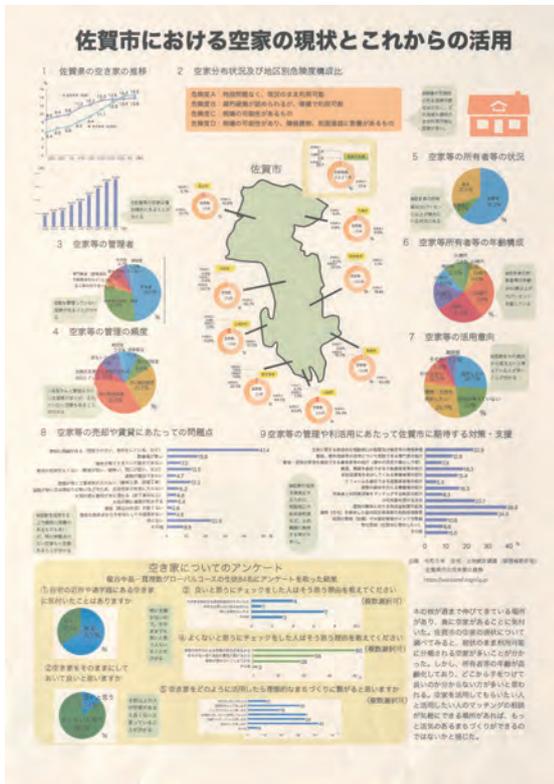


高校生以上の作品（手書き・パソコン利用不問）

島根県島根県立松江北高等学校
1年 影山 亜 胡

選択的夫婦別姓制度に関する調査を、高校生や大人へのアンケート、G7諸国との比較、法制度の変遷など多面的に展開した力作です。制度がないことによって起きる問題や、名前にまつわるジェンダーギャップが子どもに与える影響にまで踏み込んでおり、社会制度の変化が個人と社会に及ぼす影響をバランスよく示しています。データに基づいた説得力ある主張が際立つ、高い完成度の探究作品です。入選、おめでとうございます！

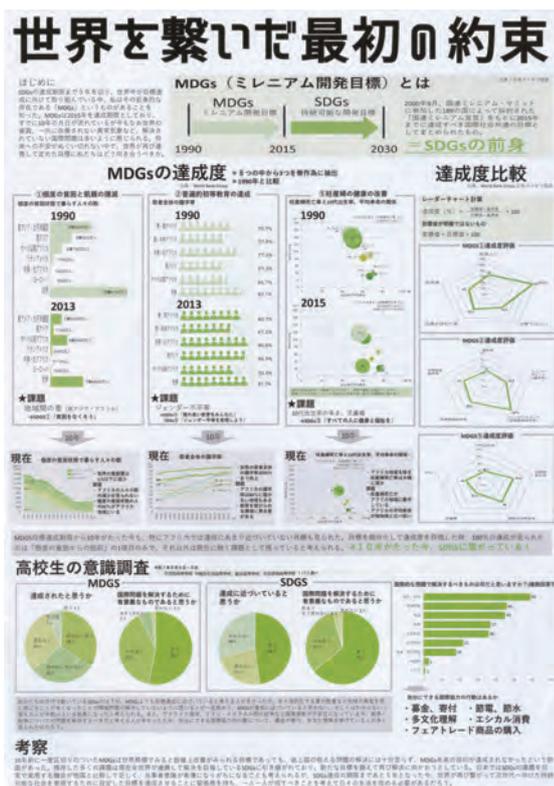




佐賀県学校法人佐賀龍谷学園龍谷高等学校
2年 豊 増 恒 生

佐賀市における空家の分布や管理状況、課題、住民意識などを地図やグラフを使って丁寧に可視化した作品です。特に、危険度別の分布や所有者の年齢層、空家の活用意向といった多面的な切り口でデータを整理した上で、空家問題という地域課題を実地調査と統計的視点の両面から捉え、実践的な提言にまで踏み込んでいる点が評価されます。地域の問題を全国的な課題として捉え直す視点にも優れています。入選、おめでとうございます！

高校生以上の作品 (手書き・パソコン利用不問)



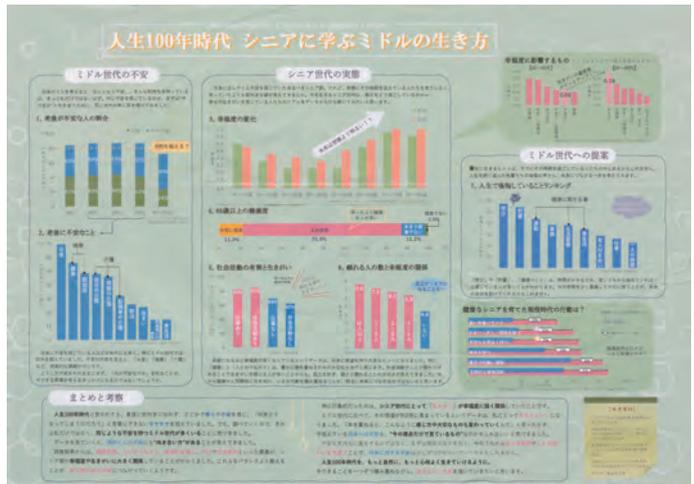
佐賀県佐賀県立佐賀西高等学校
2年 田 口 夢 彩

MDGs (ミレニアム開発目標) とその後継であるSDGs とのつながりをテーマに、グローバルな課題とその達成度を体系的に整理した力作です。図表の活用が非常に効果的で、識字率・死亡率・貧困率など複数の観点から進捗を可視化し、地域差や達成度のばらつきを的確に伝えています。加えて、高校生の意識調査の結果も掲載されており、身近な視点からの共感や気づきを促している点が評価できます。入選、おめでとうございます！

◎佳作

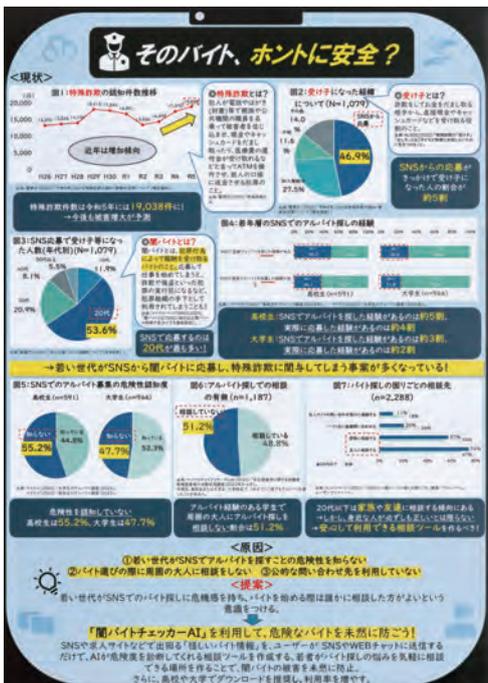


埼玉県さいたま市立大宮国際中等教育学校
4年 井上 結月・清水 結衣



埼玉県 一般
土井 久美子

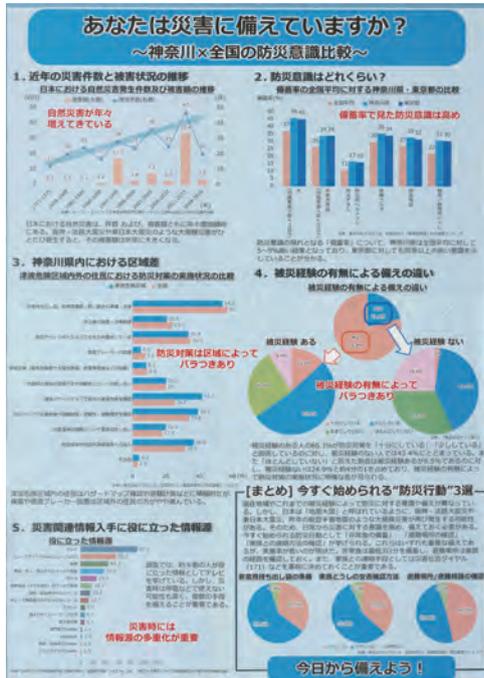
高校生以上の作品 (手書き・パソコン利用不問)



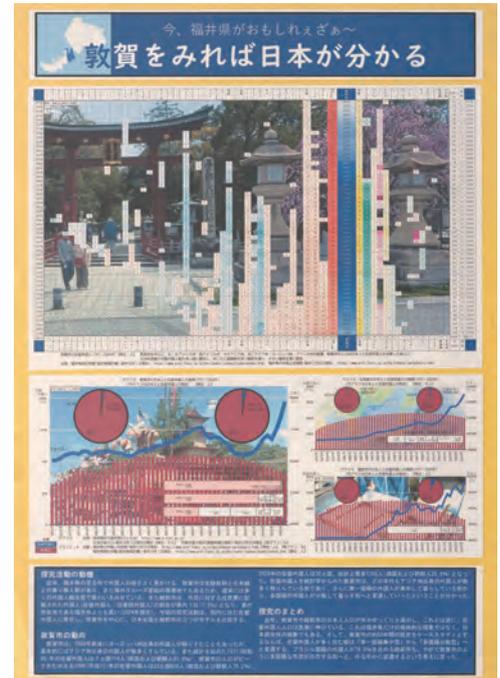
東京都実践女子大学
3年 有馬 詩織・岩坂 果純
大関 実佐季



東京都吉祥女子高等学校
1年 堀 籠 環



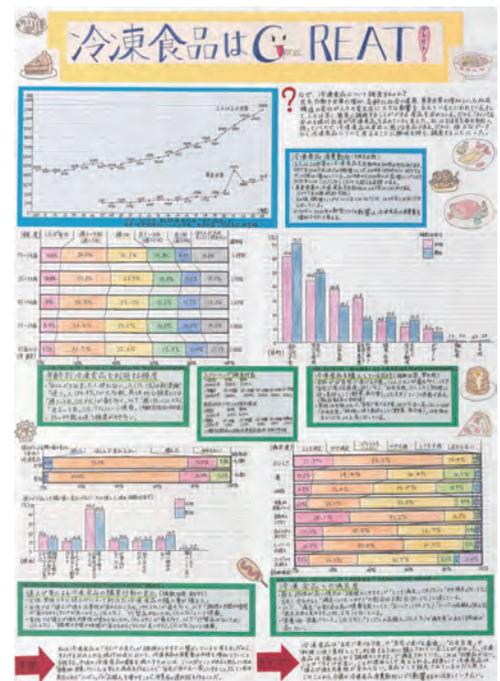
神奈川県慶應義塾湘南藤沢中部・高等部
4年 岩佐 葵



福井県 一般
杉原 美智久



愛知県名古屋大学教育学部附属高等学校
1年 加藤 結

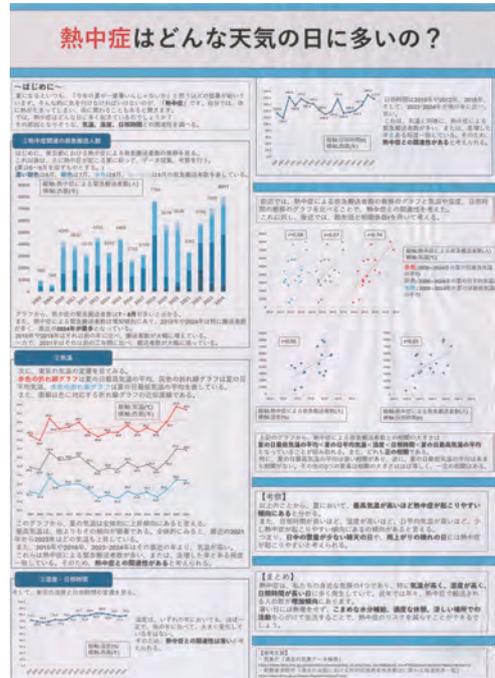


愛知県金城学院高等学校
2年 杉浦 潤香

高校生以上の作品（手描き・パソコン利用不問）



大阪府大阪教育大学附属高等学校池田校舎
2年 地頭所 暖 香・坂 井 ほのか
西尾 優希・辻 茉 優
辻 田 真 央

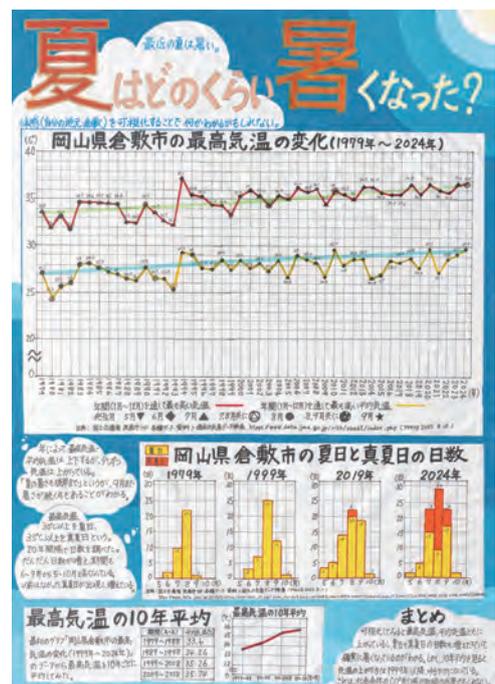


兵庫県雲雀丘学園高等学校
2年 村上 遼

高校生以上の作品 (手書き・パソコン利用不問)



島根県島根県立松江南高等学校
1年 原 壮 良



岡山県 一般
惣 中 彩

第73回統計グラフ全国コンクール入選作品集の講評者

- 実践女子大学人間社会学部学部長 竹内 光悦
 - 第1部 小学1・2年生の作品
 - 第2部 小学3・4年生の作品
 - 第3部 小学5・6年生の作品

- 立正大学データサイエンス学部教授 渡辺 美智子
 - 第4部 中学生の作品
 - 第5部 小中学生のパソコン統計グラフの作品
 - 第6部 高校生以上の作品（手描き・パソコン利用不問）

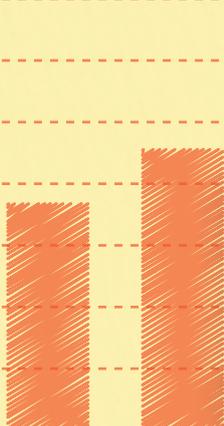
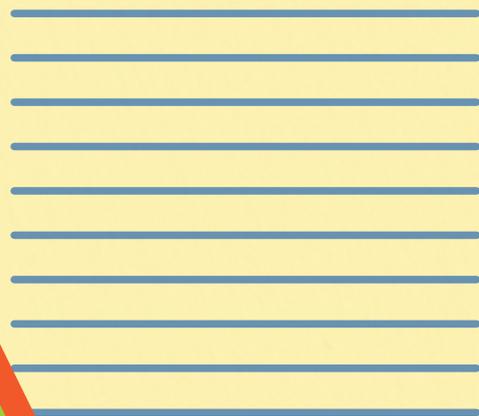
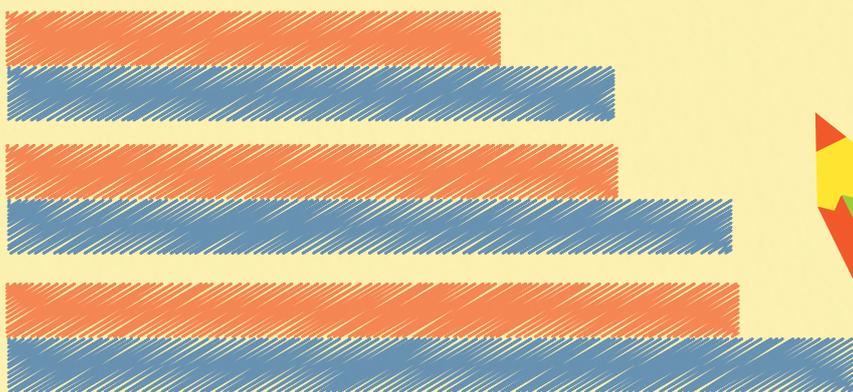
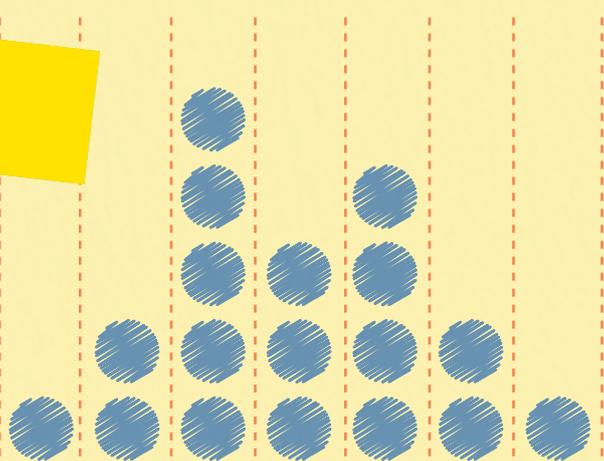
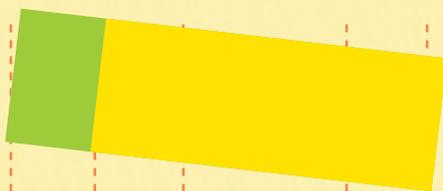
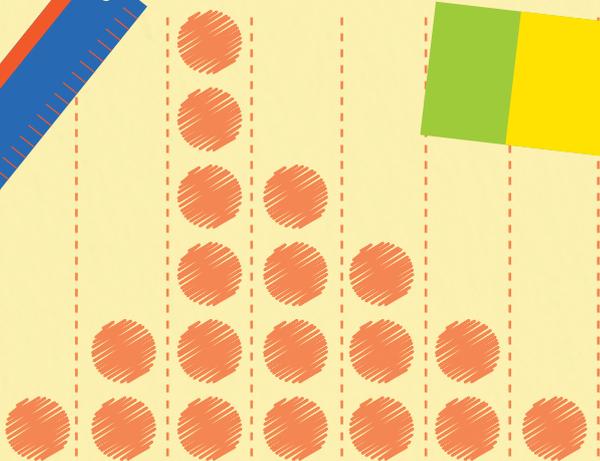
第73回統計グラフ全国コンクール入賞作品集

令和8年3月発行

編集・発行 総務省政策統括官（統計制度担当）付
統計企画管理官室

〒162-8668 東京都新宿区若松町19-1

※ 引用・転載する場合は、出典「第73回統計グラフ全国コンクール入賞作品集（総務省）」の表記をお願いします。



公益財団法人統計情報研究開発センターホームページ
「統計グラフ全国コンクール」

<https://www.sinfonica.or.jp/tokei/graph/index.html>

